

Vario Mail Security

グループ管理マニュアル

●ご注意

- 本マニュアルに記載されている内容の一部、またはすべてを無断で転載したり、複製することはできません。
- 本マニュアルの内容は、ソフトウェアの改良によって将来予告なく変更されることがあります。
- 本マニュアルの内容につきましては、万全を期して作成しておりますが、万一、わかり難い点や記載漏れ、誤記などがございましたらご連絡ください。
- 本マニュアルの掲載画面とご使用のサービス画面とは、一部異なる場合があります。

●商標

- Microsoft Internet Explorer および Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mozilla Firefox は米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Google Chrome は Google Inc. が所有する商標または登録商標です。

■目次

概要

| | |
|--------------------------|---|
| 本マニュアルについて | 1 |
| 表記規則 | 2 |
| 処理の流れ | 3 |
| パスワード付き ZIP 形式について | 4 |

グループ管理メニュー

| | |
|----------------------------|----|
| ログイン／ログアウト | 5 |
| ログイン | 5 |
| ログアウト | 5 |
| パスワード変更について | 6 |
| グループ管理メニューについて | 7 |
| 設定反映について | 9 |
| メール処理情報 | 10 |
| メール情報検索 | 10 |
| レポート検索 | 12 |
| レポート統計 | 15 |
| 送受信ランキング | 17 |
| アーカイブダウンロード | 17 |
| ルール | 19 |
| ルール | 19 |
| ブロックルール | 24 |
| 保留ルール | 25 |
| 添付ファイル保護ルール | 27 |
| BCC 化ルール | 33 |
| ルールの条件について | 34 |
| ルール判定と処理について(補足) | 38 |
| 条件の判定方法と評価対象について(補足) | 39 |
| 複数の送信先に対する動作について(補足) | 41 |
| 本文コメント | 42 |
| 設定 | 45 |

目次

| | |
|-------------------|-----------|
| ルールオプション | 45 |
| メール処理通知 | 47 |
| 保留オプション | 51 |
| 暗号オプション | 53 |
| ダウンロードオプション | 56 |
| パスワード | 58 |
| パスワード通知 | 60 |
| 除外ファイルタイプ | 62 |
| アクセス制限 | 66 |
| レポートオプション | 68 |
| ユーザーオプション | 69 |
| 管理 | 72 |
| ユーザー | 72 |

連絡先

| | |
|------------------------|-----------|
| お問い合わせ先 | 79 |
| サポートセンターへのお問い合わせ | 79 |

概要

ここでは、Vario Mail Security を扱う上で知っておくべき事柄について解説します。

本マニュアルについて

本マニュアルでは、Vario Mail Security(以下、本サービス)のグループの管理者を対象とし、メールやルール処理の流れ、またグループの管理者がルール作成や設定、運用の管理を行う「グループ管理メニュー」について記載しています。



はじめに、本サービスではメール運用の管理範囲(ドメインや組織、部署など)のことを「グループ」、またグループの管理者のことを「グループ管理者」と呼びます。

「グループ管理メニュー」とは、本サービスが主にグループ管理者用に提供している管理メニューで、ブラウザで設定・操作ができます。

グループ管理メニューの主要機能としてブロック、保留、暗号化、ダウンロード URL 化、BCC 化といった機能があります。これらの機能を使用することで、To や Cc に指定されたメールアドレスが多い場合にはメールをブロックまたは BCC 化して送信する、社外宛のメールについては一旦保留する、添付ファイルは暗号化もしくはダウンロード URL 化して送信するなどといった運用を実現できます。

以下のブラウザでのご利用を推奨しています。

| 推奨ブラウザ |
|--------------------------|
| Internet Explorer 8.0 以降 |
| Microsoft Edge (最新版) |
| Mozilla Firefox (最新版) |
| Google Chrome (最新版) |

表記規則

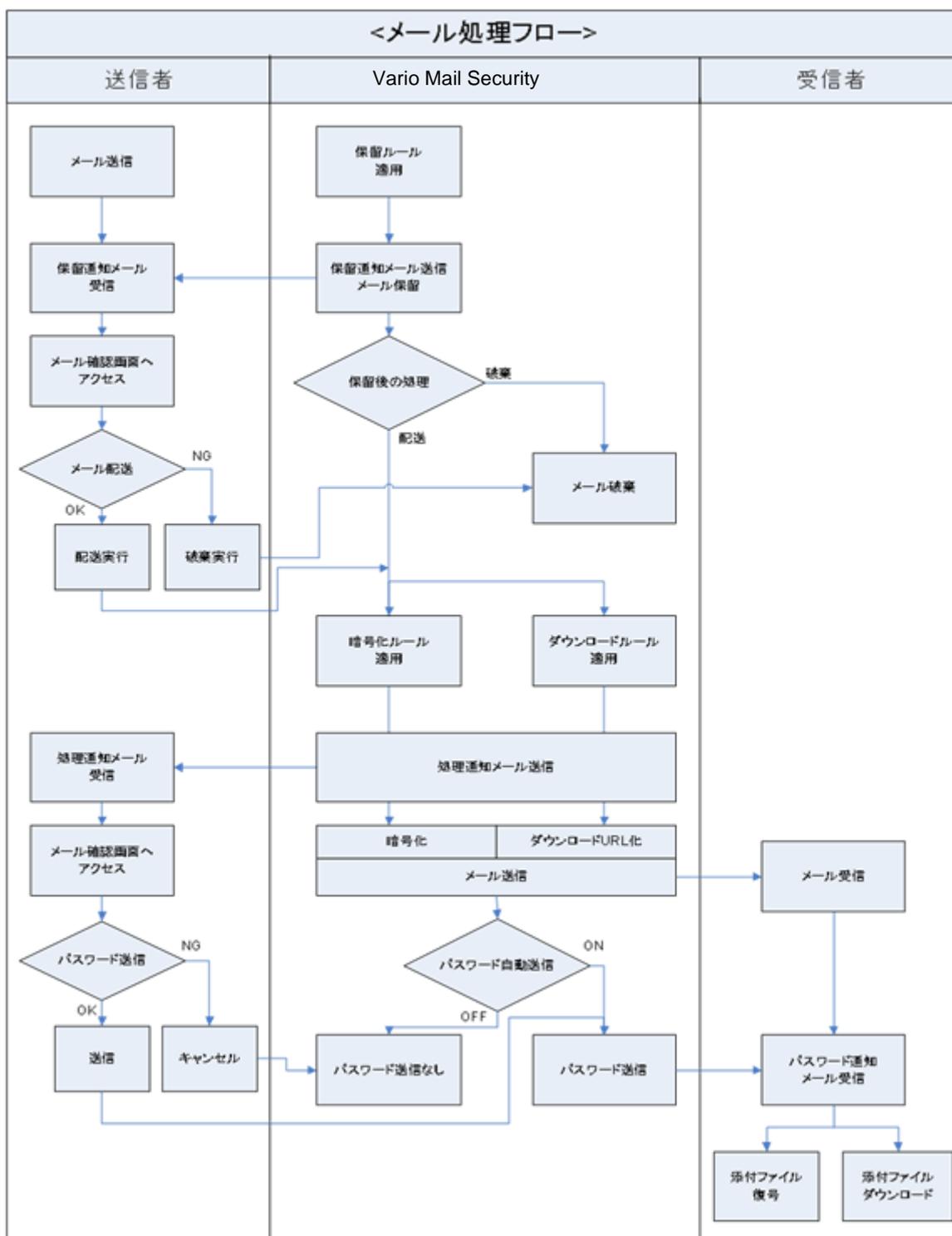
本マニュアルは、以下の規則にしたがって表記しています。

- ・ 画面タイトル名、メニュー名および項目名は、[]で囲んでいます。
- ・ ボタン名およびリンク名は、<>で囲んでいます。
- ・ 押さえておきたい内容を「POINT」として記述しています。
- ・ 注意が必要な内容を「CAUTION」として記述しています。

概要

処理の流れ

本サービスで保留や添付ファイル保護(暗号化・ダウンロードURL化)を行った場合、添付ファイルを含む電子メールの送受信は、以下のように処理されます。



パスワード付き ZIP 形式について

本サービスは、暗号化にパスワード付き ZIP 形式 (Traditional ZIP) を採用しています。ZIP 形式は主に海外で広く普及している圧縮形式で、Windows は元より Mac OS でも ZIP 形式ファイル进行操作するためのツールが数多く公開されています。

Windows 8 以降はパスワード付き ZIP 形式をサポートしており、標準で解凍が可能です。

またオプションとして AES 暗号 (AE-2 256bit) にも対応しており暗号強度を高めることも可能です。AES で暗号化された ZIP 形式ファイルの解凍には、AES 暗号をサポートしたツールが必要になりますのでご注意ください (Windows 標準の機能ではサポートされていません)。

ZIP 形式の解凍をサポートしていない OS で ZIP 形式ファイルを扱う場合、また、AES 暗号を利用した ZIP 形式ファイルを扱う場合には、それぞれに対応した圧縮・解凍ツールが必要になります。以下のツールは、標準および AES 暗号を利用した ZIP 形式に対応しています。

●Windows 対応

「WinZIP」株式会社コーレル <http://www.corel.jp/>

「SecureZIP」エクセルソフト株式会社 <http://www.xlsoft.com/jp/>

●Mac OS 対応

「Stuffit Expander」株式会社アクト・ツー <http://www.act2.com/>

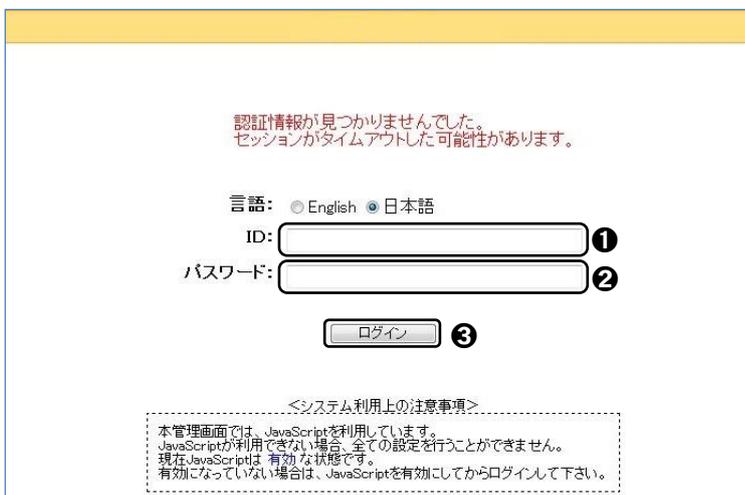
グループ管理メニュー

ここでは、本サービスのグループ管理メニューの利用方法について解説します。

ログイン／ログアウト

ログイン

グループ管理メニューへのログインを行うには、ブラウザで別途お知らせしました URL にアクセスしてください。



サーバーにアクセスすると、ログイン画面が表示されます。

ログインするには、まず画面表示の言語を選択します。次に①[ID]にはアカウント(メールアドレス)を、②[パスワード]にはアカウントに対応したパスワードを入力し、③<ログイン>ボタンをクリックします。

ログイン画面

ログアウト



グループ管理メニューを終了するには、画面右上に表示されている<ログアウト>ボタンをクリックしてログアウトします。

<ログアウト>ボタンをクリックする

パスワード変更について

ログインに使用するパスワードの変更を行います。



画面右上に表示されている<パスワード変更>ボタンをクリックします。

グループ管理メニュー画面

パスワードを変更するには、①各項目に入力し、②<変更>ボタンをクリックします。

パスワードはマスク表示される

| | |
|---------------|----------------------|
| 現在のパスワード | 現在使用しているパスワードを入力します。 |
| 新しいパスワード | 変更後のパスワードを入力します。 |
| 新しいパスワード(再入力) | 再度、変更後のパスワードを入力します。 |

POINT

パスワードに使用できる文字は次のとおりです。

abcdefghijklmnopqrstuvwxyzABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789._+&%

グループ管理メニューについて

グループ管理メニューに表示される左ペインの各項目をクリックすると、左ペインに設定項目画面が表示されます。



グループ管理メニュー画面

●メニュー項目

| メール処理情報 | |
|-------------|---|
| メール情報検索 | 保留や添付ファイル保護、BCC 化処理されたメールに関する情報の検索を行います。 |
| レポート検索 | グループのメール処理履歴を検索します。 |
| レポート統計 | メール処理の統計情報を表示します。 |
| 送受信ランキング | 送信先および差出人の多いメールアドレスのランキングを表示します。 |
| アーカイブダウンロード | アーカイブされたレポート情報をダウンロードします。 |
| ルール | |
| ルール | ブロックや暗号化、ダウンロード URL 化、保留、BCC 化などのルールを閲覧や登録、編集します。 |
| 本文コメント | 暗号化またはダウンロード URL 化処理されたメールの本文に挿入するコメントを登録、編集します。 |
| 設定 | |
| ルールオプション | ルールの拡張処理やブロック通知メール内容に関する設定を行います。 |
| メール処理通知 | 処理通知メール内容に関する設定を行います。 |
| 保留オプション | メール保留時の通知先共通設定や通知メール内容の設定などを行います。 |
| 暗号オプション | 暗号化時の共通処理や動作に関する設定を行います。 |
| ダウンロードオプション | ダウンロードの回数制限や期限のデフォルト値など、ダウンロードに関する設定を行います。 |
| パスワード | パスワードに関するさまざまな設定を行います。 |
| パスワード通知 | パスワード通知メール内容に関する設定を行います。 |
| 除外ファイルタイプ | 添付ファイル保護対象としないファイルに関する設定を行います。 |

グループ管理メニュー

| | |
|-----------|--|
| アクセス制限 | グループ管理メニュー、メール確認画面へのアクセス制限に関する設定を行います。 |
| レポートオプション | レポート統計を定期的にメールで送信する設定を行います。 |
| ユーザーオプション | ログインロック回数や期間、ロック通知メールに関する設定を行います。 |
| 管理 | |
| ユーザー | 「グループ管理者」や「利用者」の登録や削除、パスワード変更を行います。 |

CAUTION

次のメニュー項目は、保留機能が有効な場合のみ表示されます。

- 保留オプション

次のメニュー項目は、暗号化機能が有効な場合のみ表示されます。

- 暗号オプション

次のメニュー項目は、ダウンロード URL 化機能が有効な場合のみ表示されます。

- ダウンロードオプション

次のメニュー項目は、暗号化もしくはダウンロード URL 化機能が有効な場合のみ表示されます。

- 本文コメント
- パスワード
- パスワード通知
- 除外ファイルタイプ

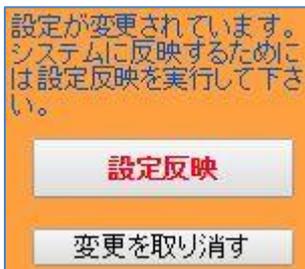
●表示・ボタン

| | |
|---------|---------------------------|
| グループ名 | 画面左上にログインしているグループ名を表示します。 |
| 設定反映 | 登録・変更したルールや設定を反映します。 |
| ログイン ID | 現在ログインしているログイン ID を表示します。 |
| ログイン時刻 | ログインした時刻を表示します。 |
| パスワード変更 | ログインユーザーのパスワード変更を行います。 |
| ログアウト | グループ管理メニューよりログアウトします。 |

CAUTION

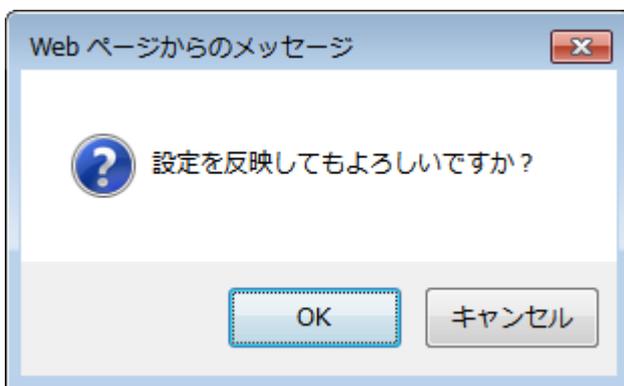
メニューの操作では、ブラウザの<戻る>ボタンは使わないでください。画面が正しく表示されません。

設定反映について

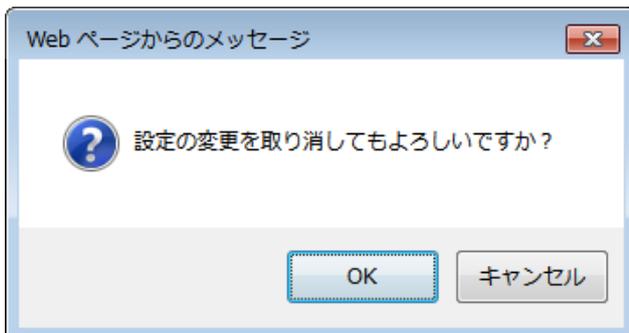


グループ管理メニューの中には、設定変更後に設定反映が必要な項目がいくつかあります。設定反映が必要になると、左ペインに警告が表示されるとともに<設定反映>ボタンがアクティブとなります。

また、設定を反映せずに取り消す<変更を取り消す>ボタンが表示されます。



<設定反映>ボタンをクリックすると、確認ダイアログボックスが表示されます。<OK>ボタンをクリックすると、設定内容がシステムに反映されます。

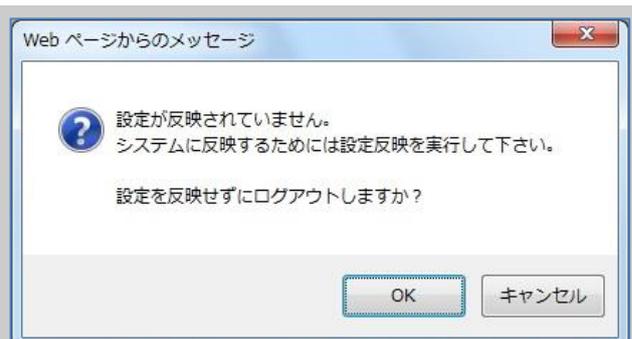


<変更を取り消す>ボタンをクリックすると、確認ダイアログボックスが表示されます。<OK>ボタンをクリックすると、設定反映前の変更内容が破棄されます。

CAUTION

設定が変更されているにも関わらず、<設定反映>ボタンをクリックしないままログアウトしようとすると、警告メッセージが表示されます。

設定を反映せずにログアウトした場合、変更した内容は実際の動作には反映されません。



メール処理情報

メール情報検索

保留・添付ファイル保護・BBC 化処理されたメール情報の履歴を表示します。期間や差出人、宛先、ファイル名などで検索し表示できます。

[メール情報検索]画面

● メール情報を検索する

1 ① 検索対象にする条件にチェックを付け、条件を入力します。

| | | |
|---------|---|-------------------------------|
| 差出人 | 差出人のメールアドレスを指定します。初期値としてログインしたユーザーの電子メールアドレスが指定されています。 | |
| 日時 | 期間を指定できます。開始日時と終了日時を入力して、検索対象とする期間を指定します。 | |
| サブジェクト | 電子メールの件名を指定します。入力した文字列に部分合致する件名が検索対象となります。 | |
| 送信先 | 送信先の電子メールアドレスを指定できます。入力した文字列に部分合致する電子メールアドレスが検索対象となります。 | |
| 添付ファイル名 | 添付ファイル名を指定できます。入力した文字列に部分合致する添付ファイルが検索対象となります。 | |
| ステータス | メールの状態を指定できます。 | |
| | メール保留中 | 保留中のメールが検索対象になります。 |
| | パスワード未送信 | パスワード通知が未送信の状態のメールが検索対象になります。 |

- 2 条件を入力後、②<検索>ボタンをクリックすると検索が開始され、③送信したメールの日付、サブジェクト(件名)など検索結果一覧が表示されます。

| | |
|-----------|---------------------------------|
| 日時 | 処理日時を表示します。 |
| サブジェクト | 電子メールの件名を表示します。 |
| パスワード通知日時 | パスワードが最終的に送信された日時を表示します。 |
| 操作 | <表示>ボタンをクリックすると、メール確認画面が表示されます。 |

POINT

本機能で検索できる対象のメールは、保留、添付ファイル保護や BCC などの処理が行われたメールになります。ブロックやスルーされたメールについては、検索対象になりません。

● メール情報の詳細を閲覧する

1

| 日付 | サブジェクト | 操作 |
|---------------------|---------------------|-----------------------------------|
| 2011/09/21 18:05:33 | safeAttachお見積もりについて | <input type="button" value="表示"/> |
| 2011/09/21 17:41:23 | TEST3 | <input type="button" value="表示"/> |
| 2011/09/21 17:41:09 | TEST2 | <input type="button" value="表示"/> |
| 2011/09/21 17:41:04 | TEST1 | <input type="button" value="表示"/> |

検索された履歴の詳細を見ることができます。検索結果一覧に表示される<表示>ボタンをクリックします。

<表示>ボタンをクリックする



[メール確認]画面が別ウィンドウで表示され、メールのヘッダー情報や本文、配送状況やその他暗号化状況などメールの情報を確認することができます。またメール配送やパスワード送信などの操作も可能です。画面表示や操作の詳細は「利用者マニュアル」をご確認ください。

メールの情報が表示される

レポート検索

メール処理のレポートを表示します。日時や差出人、宛先、処理などを条件として検索し表示できます。

[レポート検索]画面

POINT

<アーカイブダウンロード>ボタン①をクリックすると、[アーカイブダウンロード]画面が表示されます。(→ [アーカイブダウンロード]P.17)

● レポートを検索する

- ②メール処理のレポートの検索は、[レポート検索]画面で行います。検索条件の各項目をチェックし、条件を入力します。

| | | |
|------|---|-------------------------|
| 日時 | 期間を指定できます。開始日時と終了日時を入力して、検索対象とする期間を指定します。 | |
| 差出人 | 差出人の電子メールアドレスを指定できます。入力した文字列に部分合致する電子メールアドレスが検索対象となります。 | |
| 送信先 | 宛先の電子メールアドレスを指定できます。入力した文字列に部分合致する電子メールアドレスが検索対象となります。 | |
| 処理 | 処理の内容を指定できます。複数の指定が可能です。 | |
| | 暗号 | 暗号化処理を検索対象とします。 |
| | ダウンロード | ダウンロード URL 処理を検索対象とします。 |
| | BCC | BCC 化処理を検索対象とします。 |
| | 保留 | 保留処理を検索対象とします。 |
| | 保留後配送 | 保留後の配送処理を検索対象とします。 |
| | 保留後破棄 | 保留後の破棄処理を検索対象とします。 |
| ブロック | 送信のブロック処理を検索対象とします。 | |

グループ管理メニュー

| | | |
|----------|--|-----------------------|
| | スルー | 暗号化せず送信した処理を検索対象とします。 |
| | 処理エラー | エラーとなった処理を検索対象とします。 |
| メッセージサイズ | 電子メールのサイズを指定できます。入力した数値以上のサイズが検索対象となります。 | |
| 添付ファイル名 | 添付ファイル名を指定できます。入力した文字列に部分合致する添付ファイルが検索対象となります。 | |
| サブジェクト | 電子メールの件名を指定できます。入力した文字列に部分合致する件名が検索対象となります。 | |

2

③ 検索条件を指定し、〈検索〉ボタンをクリックすると検索結果が表示されます。

| | | |
|------------|---------------------------------|-------------------------|
| 日時 | 処理日時を表示します。 | |
| 処理 | 処理内容を表示します。 | |
| | ENCRYPT | 暗号化 |
| | DOWNLOAD | ダウンロード URL 化 |
| | BCC | BCC 化 |
| | HOLD | 保留 |
| | DELIVER | 保留後配送 |
| | DISCARD | 保留後破棄 |
| | BLOCK | ブロック |
| | THROUGH | 添付ファイル保護および BCC 処理無しで配送 |
| | ERROR | 処理エラー |
| 差出人 | 送信元のメールアドレスを表示します。 | |
| 送信先 | 送信先のメールアドレスを表示します。 | |
| メッセージ ID | 電子メールのメッセージ ID を表示します。 | |
| サブジェクト | 電子メールの件名を表示します。 | |
| 添付ファイル名 | 電子メールの添付ファイル名を表示します。 | |
| 暗号化ファイル | 暗号化後の ZIP ファイル名を表示します。 | |
| 暗号化ファイルの内容 | 暗号対象のファイルを表示します。 | |
| ダウンロードファイル | ダウンロード対象のファイルを表示します。 | |
| メールサイズ | 電子メール全体のサイズを表示します。 | |
| 処理メッセージ | 処理メッセージを表示します。 | |
| 操作 | 〈表示〉ボタンをクリックすると、メール確認画面が表示されます。 | |

CAUTION

次の項目は、保留機能が有効な場合に表示されます。

- ・検索条件:「処理」-「保留」
- ・検索条件:「処理」-「保留後配送」
- ・検索条件:「処理」-「保留後破棄」

次の項目は、暗号化機能が有効な場合に表示されます。

- ・検索条件:「処理」-「暗号」
- ・検索結果:「暗号化ファイル」
- ・検索結果:「暗号化ファイルの内容」

次の項目は、ダウンロード URL 機能が有効な場合に表示されます。

- ・検索条件:「処理」-「ダウンロード」
- ・検索結果:「暗号化ファイルの内容」

次の項目は、BCC 化機能が有効な場合に表示されます。

- ・検索条件:「処理」-「BCC」

● レポートをダウンロードする

1

| 日付 | 処理 | 差出人 | 送信先 |
|---------------------|---------------------------|----------------------|--|
| 2011/10/18 13:13:31 | ENCRYPT DELIVER | sender01@example.com | rcpt02@example.com |
| 2011/10/18 13:12:24 | HOLD | sender01@example.com | rcpt01@example.com rcpt02@example.com rcpt03@example.com |
| 2011/10/12 19:37:31 | ENCRYPT BCC DELIVER | sender01@example.com | rcpt03@example.com |
| 2011/10/12 19:37:31 | ENCRYPT DELIVER | sender01@example.com | rcpt02@example.com |
| 2011/10/12 19:37:31 | DOWNLOAD DELIVER | sender01@example.com | rcpt01@example.com |
| 2011/10/12 19:27:24 | HOLD | sender01@example.com | rcpt01@example.com rcpt02@example.com rcpt03@example.com |

8 件中 8 件の処理情報が見つかりました。

1ページ目 前へ 次へ

結果をファイルでダウンロード

④ 検索結果は CSV 形式ファイルとしてダウンロードできます。検索結果が表示された状態で、<結果をファイルでダウンロード>ボタンをクリックします。

2 [ファイルのダウンロード]ダイアログボックスが表示されます。<保存>ボタンをクリックして、ファイルを保存してください。

POINT

ダウンロードしたファイルの文字コードは UTF-8 (BOM 無し)です。

CAUTION

次の項目は暗号化機能が有効な場合のみデータ項目に含まれます。

- ・「暗号化ファイル」
- ・「暗号化ファイルの内容」

次の項目はダウンロード URL 機能が有効な場合のみデータ項目に含まれます。

- ・「ダウンロードファイル」

レポート統計

日別、週別、月別に、メールの総受信数やメールサイズの統計を一覧表とグラフで表示します。

左ペインからメニューを選択すると、その時点で最新のレポートが表示されます。[日別][週別][月別]の各タブメニューをクリックし、それぞれの範囲ごとに表示される期間をクリックすると、対応した期間の統計が表示されます。集計処理は毎日午前 3 時に実施されます。

●一覧表

| | | |
|-----------|-----------------------|----------------------|
| 受信数 | 受信したメールの数量 | |
| 送信数 | 送信したメールの数量 | |
| ブロック数 | ブロックおよび保留後破棄されたメールの数量 | |
| エラー数 | エラー処理されたメールの数量 | |
| 送信メール適用動作 | 保留 | 保留したメールの数量 |
| | 暗号化 | 暗号化したメールの数量 |
| | ダウンロード | ダウンロード URL 化したメールの数量 |
| | BCC 化 | BCC 化したメールの数量 |
| | スルー | 処理を行わなかったメールの数量 |
| パスワード未通知数 | パスワードを通知しなかった件数 | |
| 受信メールサイズ | 平均 | 受信したメールの平均サイズ(KB) |
| | 最大 | 受信したメールの最大サイズ(KB) |

CAUTION

レポートの統計期間は、最大 2 年間です。2 年を超えたデータは破棄されます。

●グラフ

| | |
|--------------|---------------------------|
| メール送受信数 | メールの送受信数をグラフ表示します。 |
| 送信メール適用動作 | ルールの適用動作数をグラフ表示します。 |
| パスワード未通知数 | パスワードを通知しなかった件数をグラフ表示します。 |
| 受信メールサイズ(平均) | 受信したメールの平均サイズをグラフ表示します。 |
| 受信メールサイズ(最大) | 受信したメールの最大サイズをグラフ表示します。 |

CAUTION

次の項目は保留機能が有効な場合に表示されます。

- 表/グラフ:「保留」

次の項目は暗号化機能が有効な場合に表示されます。

- 表/グラフ:「暗号化」

次の項目はダウンロード URL 機能が有効な場合に表示されます。

- 表/グラフ:「ダウンロード」

グループ管理メニュー

次の項目は暗号化もしくはダウンロード URL 機能が有効な場合に表示されます。

- 表/グラフ:「パスワード未通知数」

次の項目は BCC 化機能が有効な場合に表示されます。

- 表/グラフ:「BCC 化」

POINT

各タブメニューで表示される<全ての「日別」データをダウンロード><全ての「週別」データをダウンロード><全ての「月別」データのダウンロード>ボタンをクリックすると、それぞれのタブに対応した統計データを CSV ファイルとしてダウンロード、保存できます。保存したデータは、表計算ソフトで読み込み利用できます。例えば、<全ての「月別」データのダウンロード>ボタンをクリックしてダウンロードしたデータには、最大 2 年間分の 1 ヶ月ごとの統計データが記録されています。

送受信ランキング

差出人と送信先のメールアドレスを多い順に 20 件まで一覧表示します。

左ペインからメニューを選択すると、当日のランキングが表示されます。[日別][週別][月別]の各タブメニューをクリックし、それぞれの範囲ごとに表示される期間をクリックすると、対応した期間のランキングが表示されます。集計処理は毎日午前 3 時に実施されます。

| 送受信ランキング | | | | | | | | | |
|---|-----------------------------|-----|--------|----|--------------------------------|-----|--------|--|--|
| 差出人と送信先のメールアドレスを多い順にランキング表示します。 | | | | | | | | | |
| 日別 週別 月別 2008年 2009年 2010年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 | | | | | | | | | |
| 差出人 | | | 送信先 | | | | | | |
| 順位 | メールアドレス | 通数 | 割合 | 順位 | メールアドレス | 通数 | 割合 | | |
| 1 | sender0187@orangesoft.co.jp | 199 | 32.84% | 1 | recipient0404@orangesoft.co.jp | 192 | 14.21% | | |
| 2 | sender0966@orangesoft.co.jp | 185 | 30.53% | 2 | recipient0306@orangesoft.co.jp | 143 | 10.58% | | |
| 3 | sender0144@orangesoft.co.jp | 84 | 13.86% | 3 | recipient0067@orangesoft.co.jp | 109 | 8.07% | | |
| 4 | sender0393@orangesoft.co.jp | 31 | 5.12% | 4 | recipient0137@orangesoft.co.jp | 104 | 7.70% | | |
| 5 | sender0529@orangesoft.co.jp | 24 | 3.96% | 5 | recipient0002@orangesoft.co.jp | 48 | 3.55% | | |
| 6 | sender0529@orangesoft.co.jp | 22 | 3.63% | 6 | recipient0138@orangesoft.co.jp | 31 | 2.29% | | |
| 6 | sender0636@orangesoft.co.jp | 22 | 3.63% | 6 | recipient0776@orangesoft.co.jp | 31 | 2.29% | | |
| 7 | sender0489@orangesoft.co.jp | 15 | 2.48% | 7 | recipient0183@orangesoft.co.jp | 30 | 2.22% | | |
| 8 | sender0606@orangesoft.co.jp | 13 | 2.15% | 8 | recipient0973@orangesoft.co.jp | 24 | 1.78% | | |
| 9 | sender0025@orangesoft.co.jp | 4 | 0.66% | 9 | recipient0019@orangesoft.co.jp | 22 | 1.63% | | |
| 10 | sender0590@orangesoft.co.jp | 2 | 0.33% | 9 | recipient0133@orangesoft.co.jp | 22 | 1.63% | | |
| 10 | sender0683@orangesoft.co.jp | 2 | 0.33% | 10 | recipient0110@orangesoft.co.jp | 20 | 1.48% | | |
| 11 | sender0013@orangesoft.co.jp | 1 | 0.17% | 11 | recipient0470@orangesoft.co.jp | 19 | 1.41% | | |
| - | - | - | - | 12 | recipient0246@orangesoft.co.jp | 17 | 1.26% | | |
| - | - | - | - | 12 | recipient0425@orangesoft.co.jp | 17 | 1.26% | | |
| - | - | - | - | 12 | recipient0754@orangesoft.co.jp | 17 | 1.26% | | |
| - | - | - | - | 12 | recipient0917@orangesoft.co.jp | 17 | 1.26% | | |
| - | - | - | - | 13 | recipient0276@orangesoft.co.jp | 14 | 1.04% | | |
| - | - | - | - | 14 | recipient0119@orangesoft.co.jp | 12 | 0.89% | | |
| - | - | - | - | 15 | recipient0650@orangesoft.co.jp | 9 | 0.67% | | |

CAUTION

ランキングの集計期間は、最大 2 年間です。2 年を超えるデータは破棄されます。

アーカイブダウンロード

グループごとのレポートの保存期間またはシステムの最大保存件数を越えたレポートは、アーカイブ(書庫)ファイルとして出力、保存されます。アーカイブファイルは、[アーカイブダウンロード]画面の<ダウンロード>ボタンをクリックすることで、随時ダウンロードできます。

1

| アーカイブダウンロード | | | |
|-----------------------------------|--------------|----------|---------------------|
| 「ダウンロード」ボタンで選択したアーカイブをダウンロードできます。 | | | |
| メール処理レポート | | | |
| 選択 | ファイル名 | サイズ(バイト) | 最終更新日 |
| <input type="radio"/> | 201009_1.zip | 776 | 2010/09/20 17:46:50 |
| <input type="radio"/> | 201008_1.zip | 30,762 | 2010/09/08 12:47:07 |
| <input type="radio"/> | 201007_1.zip | 58,303 | 2010/08/12 15:26:49 |
| <input type="radio"/> | 201006_1.zip | 17,674 | 2010/07/14 17:06:28 |
| <input type="radio"/> | 201005_1.zip | 6,876 | 2010/06/09 19:38:24 |
| <input type="radio"/> | 201004_1.zip | 4,117 | 2010/05/11 19:43:42 |
| <input type="radio"/> | 201003_1.zip | 131,161 | 2010/04/14 17:43:42 |
| <input type="radio"/> | 201002_1.zip | 429 | 2010/02/24 16:21:16 |

8 件のアーカイブが見つかりました。

ダウンロード

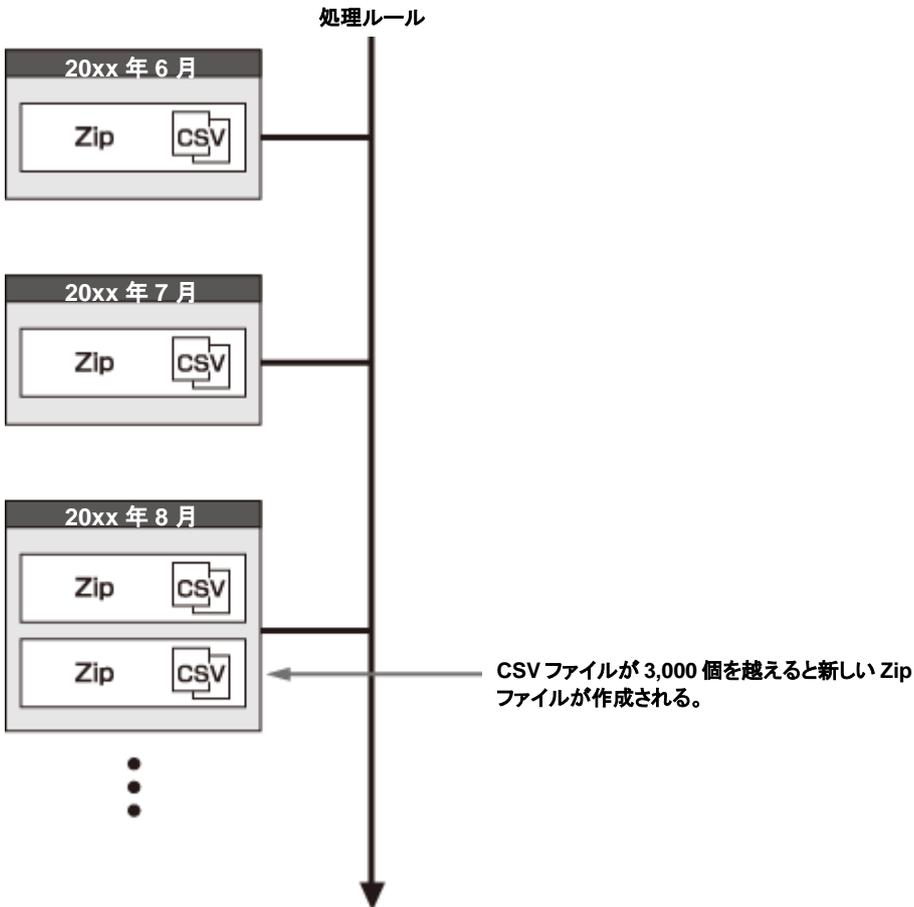
[メール処理レポート]に表示されたアーカイブファイルの中から、ダウンロードするファイルを選択し<ダウンロード>ボタンをクリックします。

[アーカイブダウンロード]画面

2 [ファイルのダウンロード]ダイアログボックスが表示されます。<保存>ボタンをクリックして、アーカイブファイルをクライアントに保存します。

● アーカイブファイルについて

アーカイブファイルは、ZIP 形式の圧縮ファイルです。基本的に 1 ヶ月ごとに 1 つのファイルとして保存されますが、1 ヶ月のレポートの CSV ファイルが 3,000 個を超える場合には、複数のファイルとなります。また、アーカイブファイルの保存数にも上限があり、この上限を超えた場合には古いアーカイブファイルから順次削除されます。



ルール

ルール

ルールは、どのようなメールに対してどのような処理を適用するかを定義するものです。

機能(処理動作)ごとにタブ分けされた「ブロック」「保留」「添付ファイル保護」「BCC化」、またシステム組み込みのルールを定義した「システム」のタブに分かれています。

送信メールに対しルールを上から順に評価し、それぞれ最初に一致したルールの動作を送信先ごとに適用します。ただし、ブロック及びス
①の動作は一致したメールの全ての送信先に動作を適用します。

ブロック 保留 添付ファイル保護 BCC化 システム

新規作成 コピー 削除 ② ③ ④ ⑤

| | | |
|--|--------------------------|--------|
| <input type="checkbox"/> 添付ファイル保護しない | 宛先が会社Aの場合には暗号化しない | ↑ ↓ 編集 |
| <input type="checkbox"/> ダウンロード(ランダムパスワード) | 10MBを超えるメールはダウンロードURL化する | ↑ ↓ 編集 |
| <input type="checkbox"/> 暗号化(ランダムパスワード) | 全てのメールを暗号化 | ↑ ↓ 編集 |

⑥

ルール画面

① ルールタブ

| | |
|----------|------------------------------|
| ブロック | ブロックあるいはスルーのルールを登録、表示します。 |
| 保留 | 保留ルールを登録、表示します。 |
| 添付ファイル保護 | 暗号化やダウンロード URL ルールを登録、表示します。 |
| BCC化 | BCC化ルールを登録、表示します。 |
| システム | システム組み込みのルールを表示します。 |

POINT

"CC"や"BCC"を含む複数宛先のメール(同報メール)を処理する場合、各タブメニューにおいて動作が異なります。[ブロック]、[保留]タブの動作は、同報メールの宛先すべてを包括して判断し処理します。一方、[添付ファイルが保護]、[BCC化]タブは、"それぞれ別々の宛先ごとにルールを適用し、動作することができます。複数宛先の処理については、P.41「複数の送信先に対する動作について(補足)」をご参照ください。それぞれのタブはグループにおける各機能が有効な場合に表示されます。

グループ管理メニュー

② ルールの作成、複製、削除

| | |
|------|--|
| 新規作成 | ルールを新規作成します。 |
| コピー | 各ルールのチェックボックスを選択し(複数選択可)、選択したルールをコピーします。 |
| 削除 | 各ルールのチェックボックスを選択し(複数選択可)、選択したルールを削除します。 |

③ 各タブのルール内容

選択したタブのルールが表示されます。上位のルールより順番に評価されます。

POINT

無効となっているルールは、打ち消し線で表示名が消された状態で表示されます。

| | | | | | |
|--------------------------|-------------------|--------------------------|---|---|----|
| <input type="checkbox"/> | 添付ファイル保護しない | 宛先が会社Aの場合には暗号化しない | ↑ | ↓ | 編集 |
| <input type="checkbox"/> | ダウンロード(ランダム)パスワード | 10MBを超えるメールはダウンロードURL化する | ↑ | ↓ | 編集 |

④ ルールの評価優先順位の変更

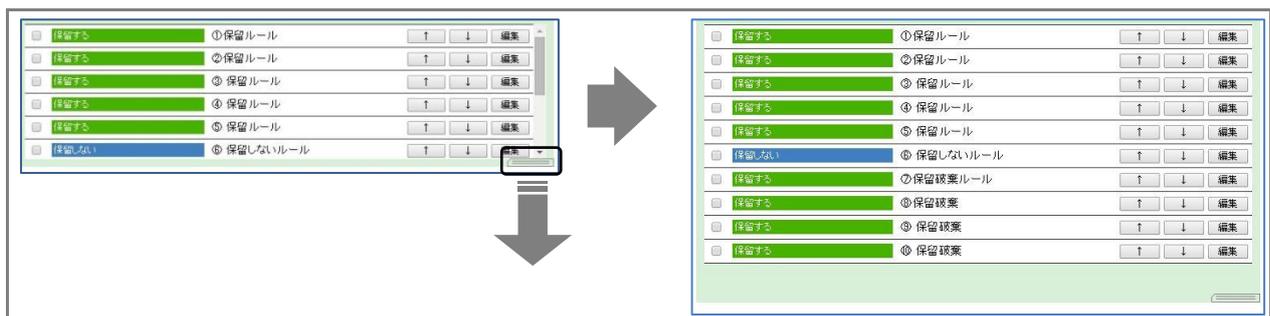
| | |
|---|----------------|
| ↑ | ルールの優先順位を上げます。 |
| ↓ | ルールの優先順位を下げます。 |

⑤ ルールの編集

各ルールの内容を編集します。

⑥ ウィンドウの高さ変更

[resize]アイコンをドラッグすることで、タブメニューウィンドウの高さ変更ができます。



● システムルール

システムルールとは、本システムで保留や添付ファイル保護などの処理をすべきではないまたは、処理した場合に問題が発生するメールを除外する目的で組み込まれた特殊なルールになります。ルール自体を有効、無効化することは可能ですが、内容の編集や削除、ルール評価の優先順序の変更操作はできません。

| ブロック | 保留 | 添付ファイル保護 | BCC化 | システム |
|------------|--------------------|----------|------|--------|
| メール全体をスルー | S/MIME処理されたメールはスルー | | | ↑ ↓ 編集 |
| メール全体をスルー | PGP処理されたメールはスルー | | | ↑ ↓ 編集 |
| メール全体をスルー | エラーメールはスルー | | | ↑ ↓ 編集 |
| メール全体をスルー | 開封通知メールはスルー | | | ↑ ↓ 編集 |
| メール全体をブロック | 分割メールはブロック | | | ↑ ↓ 編集 |

| | |
|---------------------|---|
| S/MIME 処理されたメールはスルー | S/MIME で暗号化や署名されたメールをスルーします。 |
| PGP 処理されたメールはスルー | PGP で暗号化や署名されたメールをスルーします。 |
| エラーメールはスルー | 宛先不明や受信拒否などにより送信者に返信されるエラーメール (NDR)をスルーします。 |
| 開封通知メールはスルー | 送信者に対してメール開封を通知するメール(MDN)をスルーします。 |
| 分割メールはブロック | メールクライアントで分割送信されたメールをブロックします。 |

POINT

システムルールはその他タブのルールより優先的に処理されます。

CAUTION

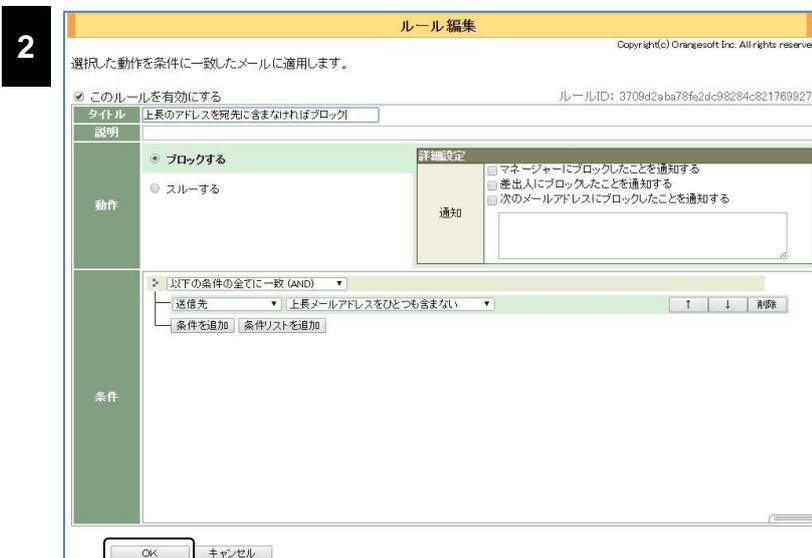
ルールを無効化する場合、保留や暗号化ルールの処理において問題がないか事前に確認を行って変更してください。

● ルールを登録する

新規にルールの登録(追加)を行います。



作成したい①ルールタブをクリックし、②<ルールの追加>ボタンをクリックします。



[ルール編集]画面が表示されます。各項目を設定し<OK>ボタンをクリックします。

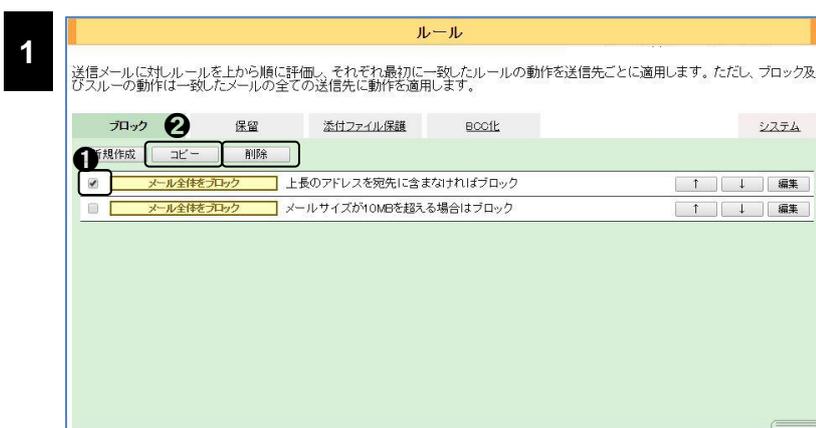
CAUTION

ルールを登録後、システムに設定を反映させる必要があります。設定反映については、「設定反映について」(P.9)をご覧ください。

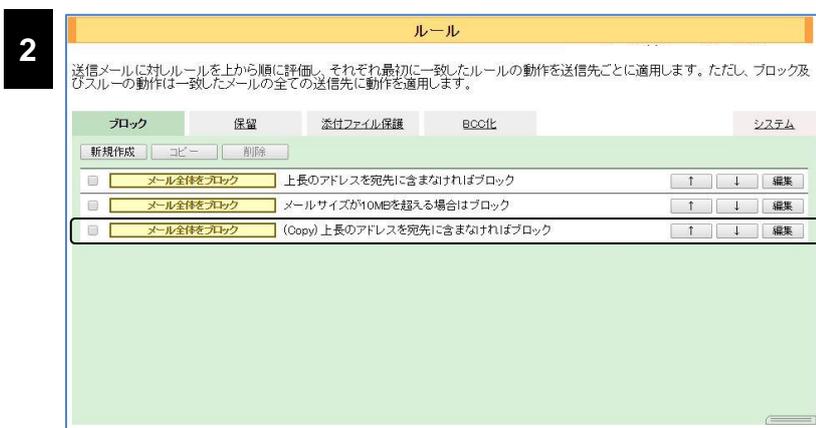
POINT

各タブに登録できるルール数の上限は、システム上限 100 件もしくはグループ毎の指定件数の設定(1~100件)によって決定されます。

● ルールをコピー・削除する



コピーまたは削除したい**①**ルールにチェックをし、**②**<コピー>ボタンまたは**②**<削除>ボタンをクリックします。



(コピーの場合)
同じルールタブの最下部ヘルパーがコピーされます。

CAUTION

ルールコピー後、システムに設定を反映させる必要があります。設定反映については、「設定反映について」(P.9)をご覧ください。

POINT

複数のルールを選択し、同時にコピーまたは削除することもできます。

ブロックルール

ブロックルールでは、特定のメールに対して、メールを受信拒否する「ブロックする」の動作とその他タブのルール判定をスキップし、配送する「スルーする」の動作を定義できます。本ルールでは、メールの全ての宛先に対し同じ動作が適用され、宛先ごとに動作を分けることはできません。

ブロックルール編集画面

| | | |
|-------------|---|---------------------------|
| このルールを有効にする | チェックするとルールが有効になります。 | |
| タイトル | ルールのタイトルを入力します。 | |
| 説明 | ルール内容の説明を入力します。空欄のままでも登録できます。 | |
| 動作 | ブロックする | 条件に該当するメールを受信拒否します。 |
| | スルーする | メールに対して何も処理を行わずそのまま配送します。 |
| 条件 | 動作を適用する条件を設定します。条件の内容については、「ルールの条件について」(P.34)をご覧ください。 | |

「ブロックする」の詳細設定

動作に「ブロックする」を選択した場合に表示される詳細設定です。

| | | |
|----|-------------------------|---|
| 通知 | グループ管理者にブロックしたことを通知する | チェックすると登録しているグループ管理者すべてにブロック通知メールを送信します。 |
| | 差出人にブロックしたことを通知する | チェックすると差出人にブロック通知メールを送信します。 |
| | 次のメールアドレスにブロックしたことを通知する | 入力欄にメールアドレスを指定しチェックすると指定したメールアドレス宛にブロック通知メールを送信します。メールアドレスを複数指定する場合には改行します。指定可能なメールアドレスの上限は 100 件となります。 |

保留ルール

保留ルールでは、特定のメールに対して、即時配送せずにメールを一時的にシステムに保留する「保留する」の動作とその反対の「保留しない」の動作を定義できます。本ルールでは、メールの全ての宛先に対し同じ動作が適用され、宛先ごとに動作を分けることはできません。

保留ルール編集画面

| | | |
|-------------|--|--------------------|
| このルールを有効にする | チェックするとルールが有効になります。 | |
| タイトル | ルールのタイトルを入力します。 | |
| 説明 | ルール内容の説明を入力します。空欄のままでも登録できます。 | |
| 動作 | 保留する | 条件に該当するメールを保留します。 |
| | 保留しない | 条件に該当するメールは保留しません。 |
| 条件 | 動作を適用する条件を設定します。条件の内容については「ルールの条件について」(P.34)をご覧ください。 | |

「保留する」の詳細設定

動作に「保留する」を選択した場合に表示される詳細設定です。

グループ管理メニュー

| | | |
|---------|--------------------------|---|
| 保留時間 | 保留する時間を入力します。 | |
| 保留後の処理 | 配送 | 選択すると保留する時間経過後、自動的に配送します。 |
| | 破棄 | 選択すると保留する時間経過後、自動的に破棄します。 |
| 通知 | 差出人へ保留したことを通知する | チェックすると差出人に保留通知メールを送信します。 |
| | 差出人へ配送／破棄したことを通知する | チェックすると保留後の配送／破棄時に差出人へメール処理通知を送信します。 |
| 第三者チェック | 「第三者チェック対象」に保留通知を送る | チェックすると[第三者チェック対象]に保留通知メールを送信します。 |
| | 次のメールアドレスに保留通知を送る | 入力欄にメールアドレスを指定しチェックすると指定したメールアドレス宛に保留通知メールを送信します。メールアドレスを複数指定する場合には改行します。指定できるアドレスの上限は100件です。 |
| | ユーザーの「上長メールアドレス」に保留通知を送る | チェックするとユーザーの[上長のメールアドレス]に保留通知メールを送信します。 |

CAUTION

- 「差出人へ配送／破棄したことを通知する」機能における「配送」の通知は、保留解除後に全ての宛先が、暗号化やダウンロード URL 化、BCC 化等の処理を行わずに配送された場合にのみ通知されます。保留解除後にこれら処理を行った際に処理通知を送信したい場合、各処理のルールで通知を有効化してください。
- 第三者チェックの[第三者チェック対象に保留通知を送る]機能を使用する場合、予め[保留オプション設定]-[第三者チェック対象](①)の設定を行ってください。
本機能が有効な場合、送信メールヘッダーの送信先(To, Cc)が①に設定されているメールアドレスに含まれる場合、該当メールアドレス宛に保留通知が送信されます。逆にヘッダーの送信先が①のアドレスに含まれない場合には、保留通知は送信されません。
- 第三者チェックの[ユーザーの「上長メールアドレス」に保留通知を送る]機能を適用するユーザーは、予めユーザーの[上長メールアドレス]の定義および[上長メールアドレスへの保留通知送信]機能が有効化されている必要があります。

添付ファイル保護ルール

添付ファイル保護ルールでは、特定のメールに対して添付ファイルを ZIP 暗号化する「暗号化する」動作、添付ファイルを Web ダウンロード形式にする「ダウンロード URL にする」動作、また暗号化もダウンロード URL 化もしない「添付ファイル保護しない」動作を定義できます。本ルールでは、メールの宛先に対して別々の動作を適用することができます。

添付ファイル保護ルール編集画面

| | | |
|-------------|---|--|
| このルールを有効にする | チェックするとルールが有効になります。 | |
| タイトル | ルールのタイトルを入力します。 | |
| 説明 | ルール内容の説明を入力します。空欄のままでも登録できます。 | |
| 動作 | 暗号化する | 添付ファイルを暗号化します。 |
| | ダウンロード URL にする | 送信するファイルをメールから切り離し、ダウンロード先のリンク(URL)を生成します。 |
| | 添付ファイル保護しない | 添付ファイルを保護しません。 |
| 条件 | 動作を適用する条件を設定します。条件の内容については、「ルールの条件について」(P.34)をご覧ください。 | |

CAUTION

本サービスの旧バージョンで条件に[ブロックする]あるいは[スルーする]を指定したルールは、動作としてそれぞれ[ブロックする(旧バージョン互換用)][スルーする(旧バージョン互換用)]が設定された状態になります。この設定は変更可能ですが、新規に登録することはできません。

● 暗号化の詳細設定

| 詳細設定 | |
|--------|--|
| パスワード | <input checked="" type="radio"/> ランダムパスワード <input type="checkbox"/> 送信先ごとに違うパスワードを使う <input type="radio"/> 固定パスワード 標準: <input type="text"/> <small>NY は年、MM は月、DD は日に置換されます。</small> 送信先別: <small>メールアドレスとパスワードを空白で区切り、1行に1つの組み合わせを入力します。</small> <small>メールアドレスの一部を * にすると部分一致となります。</small> |
| 本文コメント | コメントなし |
| 通知 | <input checked="" type="checkbox"/> 差出人へ暗号化したことを通知する <small>使用するパスワード通知を指定する</small> 暗号パスワード通知 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 送信先へパスワードを自動で通知する |
| オプション | <input type="checkbox"/> AES暗号を使用する <input checked="" type="checkbox"/> メール全体を暗号化する (例外ファイルタイプは無効) <input type="checkbox"/> メール全体をemlファイルとして添付する <input type="checkbox"/> サブジェクトを隠す <input type="checkbox"/> 暗号化したファイルの拡張子を標準以外に変更する <input type="checkbox"/> ZIPファイルの文字コードを変更する MS932 - Windows 日本語 |

動作に「暗号化する」を選択した場合に表示される詳細設定です。

| | | |
|--------|--|---|
| パスワード | ランダムパスワード | ランダムなパスワードを使用します。送信先が複数ある場合に、送信先ごとに異なるパスワードを使用するには、<送信先ごとに違うパスワードを使う>をチェックします。 |
| | 固定パスワード | 常に同じパスワードを使用します。標準で使用するパスワードを<標準:>に入力します。固定パスワードの文字列に年月日に置換する変数を含めることができます。 %Y: 年 (YYYY)、%M: 月 (MM)、%D: 日 (DD) 送信先別に特定のパスワードを使用するには、<送信先別:>のフィールドに、メールアドレスとパスワードを空白で区切り、1行に1組を入力します。メールアドレスの一部に“*” (半角のアスタリスク記号)を使用すると、任意の文字列を表すワイルドカード文字として、複数のメールアドレスを指定できます。 |
| 本文コメント | 本文コメントを選択します。[本文コメント]メニューで登録済みのコメントがリスト表示されます。 | |
| 通知 | 差出人へ暗号化したことを通知する | チェックすると差出人にメールを送信します。 |
| | 使用するパスワード通知を指定する | 送信するパスワード通知をプルダウンより選択します。 |
| | 送信先へパスワードを自動で通知する | チェックすると送信先にパスワードを自動的に送信します。 |
| オプション | AES暗号を使用する | チェックすると暗号化にAES暗号を使用します。 |
| | メール全体を暗号化する | チェックするとメール本文および添付ファイルを暗号化します。 |
| | メール全体をemlファイルとして添付する | 暗号化の際に本文と添付ファイルをeml形式に変換します。 |
| | サブジェクトを隠す | サブジェクトを設定されているものに差し替えます。 |
| | 暗号化したファイルの拡張子を標準以外に変更する | チェックすると暗号化ファイルの拡張子を変更します。変更する拡張子は管理者メニューの[暗号オプション]で設定します。 |
| | ZIPファイルの文字コードを変更する | ZIPファイルに格納されているファイル名の文字コードを変更します。 |

CAUTION

固定パスワードで暗号化する場合、必ず[標準]欄に固定パスワードを設定してください。標準以外の固定パスワードを使用する場合には、[送信先別]欄で送信先とパスワードを設定します。[送信先別]欄には、ワイルドカード“*”を使ったメールアドレスの指定が可能です。設定には注意が必要です。メールアドレスの一致判定は上位から順番に評価されます。そのため、例のようにワイルドカードに含まれてしまうような個別のメールアドレスを指定する場合には、ワイルドカードを使ったアドレスより上位に設定してください。

例：
 admin@example.co.jp adminadmin
 root@example.co.jp rootroot
 *.example.co.jp abcd1234

(補足)暗号化におけるオプションについて

[AES 暗号を使用する]

このオプションを有効にすると、対象は AES(256bit)の暗号方式が利用されます。受信クライアント側でファイルを解凍する場合、AES 暗号方式をサポートした解凍ツールが必要になります。詳しくは P.4 の「パスワード付き ZIP 形式について」を参照してください。

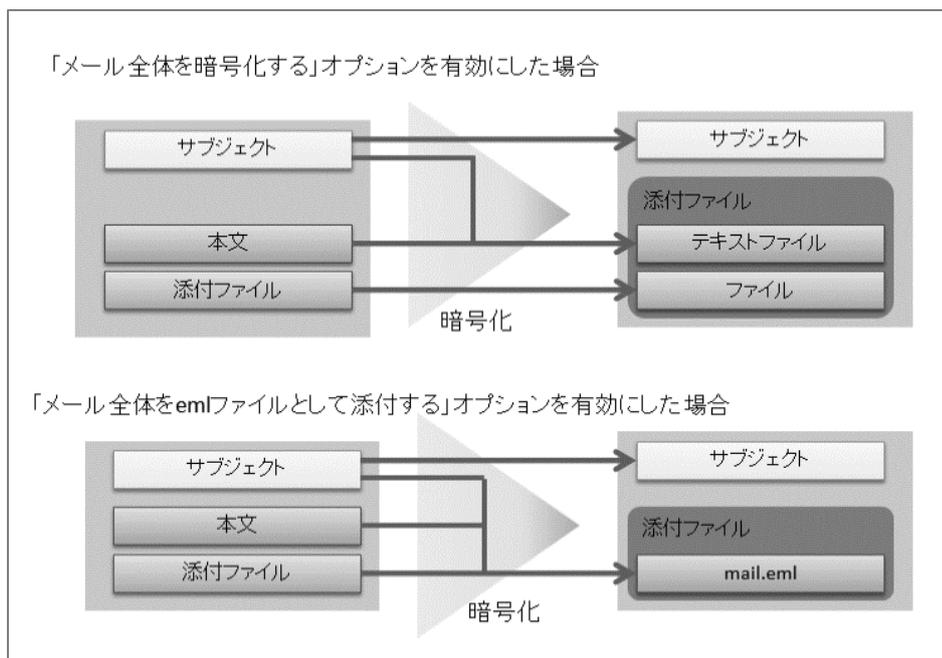
POINT

AES 暗号を使用した場合でも、暗号化ファイルは ZIP 形式になります。

[メール全体を暗号化する]

このオプションを有効にすると、添付ファイルの有無にかかわらず本文も暗号化の対象となります。除外ファイルで指定した形式のファイルがメールの添付ファイルに含まれる場合でも、暗号化の除外対象にならず、強制的にメール全体が暗号化されます。

メール全体暗号化の方法として、本文と添付ファイル部分を別ファイルとして暗号化する方法とオプションの本文と添付ファイル部分をまとめて eml のファイルとして暗号化する方法の 2 種類の形式があります。



オプション無しの場合、本文テキストが暗号化される際、本文テキストは「[message].txt」という名前のテキストファイルに変更されます。テキストファイル内の先頭行には、元メールの件名が自動的に挿入されます。また、管理メニューで設定されている文字コードへの変換が行われず。さらにオプションとして、文字コード変換前の本文を別ファイルとして添付することも可能です。文字コード変換前の本文のファイル名は「[original_message].eml」になります。(管理メニューの設定は P.55 [メール全体暗号化の本文テキストファイル文字コード]をご覧ください。)

●メール全体を eml ファイルとして添付する

このオプションを有効にすると、本文と添付ファイルを eml 形式のファイルに変換した後、暗号化を行います。ファイル名は「mail.eml」になります。

●サブジェクトを隠す

このオプションを有効にすると、メール全体暗号化時のメールの件名を別の件名(管理メニューの「P.55 [サブジェクトを隠す]」で差し替えるサブジェクト)に置き換えます。

[暗号化したファイルの拡張子を標準以外に変更する]

このオプションを有効にすると、暗号化ファイルの拡張子とコンテンツタイプを管理メニューの[暗号オプション]で指定した形式に変更します。このオプションを使用すれば、標準で「.zip」となるファイルの拡張子を任意のものに置き換えることができます。

POINT

本オプションを利用することで「.zip」のファイルを受信できない環境に対して送信が可能になる場合があります。

[ZIP ファイルの文字コードを変更する]

このオプションを有効にすると、ZIP ファイル内のファイル名の文字コードを標準の文字コード(P.55 [ZIP ファイルの文字コード])と異なる文字コードに変更することができます。送受信者環境のロケールに合わせて変更することで ZIP 解凍時のファイル名の文字化けを防ぐことができます。

● ダウンロード URL の詳細設定

| 詳細設定 | |
|--------|--|
| パスワード | <input checked="" type="radio"/> ランダムパスワード <input type="checkbox"/> 送信先ごとに違うパスワードを使う <input type="radio"/> 固定パスワード 標準: <input type="text"/> <small>%Y は年、%M は月、%D は日に置換されます。</small> 送信先別: <small>メールアドレスとパスワードを空白で区切り、1行に1つの組み合わせを入力します。</small> <small>メールアドレスの一部を * にすると部分一致となります。</small> |
| 本文コメント | コメントなし |
| 通知 | <input checked="" type="checkbox"/> 差出人へダウンロード URL にしたことを通知する 使用するパスワード通知を指定する ダウンロードURLパスワード通知 ▼ <input type="checkbox"/> 送信先へパスワードを自動で通知する |

動作に「ダウンロード URL にする」を選択した場合に表示される詳細設定です。

| | | |
|--------|--|---|
| パスワード | ランダムパスワード | ランダムなパスワードを使用します。送信先が複数ある場合に、送信先ごとに異なるパスワードを使用するには、<送信先ごとに違うパスワードを使う>をチェックします。 |
| | 固定パスワード | 常に同じパスワードを使用します。標準で使用するパスワードを<標準:>に入力します。固定パスワードの文字列に年月日に置換する変数を含めることができます。 %Y: 年 (YYYY)、%M: 月 (MM)、%D: 日 (DD) 送信先別に特定のパスワードを使用するには、<送信先別:>のフィールドに、メールアドレスとパスワードを空白で区切り、1行に1組を入力します。メールアドレスの一部に"*" (半角のアスタリスク記号)を使用すると、任意の文字列を表すワイルドカード文字として、複数のメールアドレスを指定できます。 |
| 本文コメント | 本文コメントを選択します。[本文コメント]メニューで登録済みのコメントがリスト表示されます。 | |
| 通知 | 差出人へダウンロード URL にしたことを通知する | チェックすると、差出人に添付ファイルをダウンロード URL にしたことを通知します。 |
| | 使用するパスワード通知を指定する | 送信するパスワード通知をプルダウンより選択します。 |
| | 送信先へパスワードを自動で通知する | チェックすると、送信先にパスワードを自動的に送信します。 |

● ファイル名の自動補完処理について(補足)

本サービスでは、暗号化やダウンロード URL 化処理の際、対象となるファイル名をボディ各パートの MIME ヘッダーにおける Content-Disposition の filename パラメーターもしくは Content-type の name パラメーターより取得します。ただし、これらのパラメーターよりファイル名を取得できない場合、ファイル名の自動補完を行うことがあります。

ファイル名が取得できない場合には、「no_title パート番号」をファイル名として自動補完します。パート番号は存在するパート順に 0 から連番で割り当てます。(例. 1 番目のパート:no_name0、3 番目のパート:no_name2) また、特定の Content-Type の場合には、拡張子を付与します。

| Content-type | 補完拡張子 |
|-------------------------------|-------|
| application/msword | .doc |
| application/pdf | .pdf |
| application/vnd.ms-excel | .xls |
| application/vnd.ms-powerpoint | .ppt |
| application/x-lzh | .lzh |
| application/x-tar | .tar |
| application/x-zip-compressed | .zip |
| application/zip | |
| image/bmp | .bmp |
| image/gif | .gif |
| image/jpeg | .jpeg |
| image/png | .png |
| message/rfc822 | .eml |
| multipart/alternative | |
| multipart/digest | |
| multipart/mixed | |
| multipart/parallel | |
| multipart/related | |
| text/csv | .csv |
| text/html | .html |
| text/plain | .txt |
| text/xml | .xml |

CAUTION

拡張子が自動補完の対象となる Content-type の場合でも、既に拡張子無しのファイル名が存在する場合には、拡張子の自動補完は行われません。

BCC 化ルール

BCC 化ルールでは、特定のメールに対して To や Cc に指定されたアドレスを BCC へ変換する「BCC 化する」動作と何もヘッダーの変換をしない「BCC 化しない」動作を定義できます。本ルールでは、メールの宛先に対して別々の動作を適用することができます。

BCC 化ルール編集画面

| | | | | | | | | |
|-------------|---|---|--|--|--------|--------------------------------------|----|----------------------------|
| このルールを有効にする | チェックするとルールが有効になります。 | | | | | | | |
| タイトル | ルールのタイトルを入力します。 | | | | | | | |
| 説明 | ルール内容の説明を入力します。空欄のままでも登録できます。 | | | | | | | |
| 動作 | BCC 化する | 条件に該当するメールを BCC 変換します。 | | | | | | |
| | | <table border="1"> <tr> <td>To ヘッダー</td> <td>To ヘッダーに挿入するメールアドレスを「undisclosed-recipients;」もしくは「差出人のメールアドレス」を選択します。 CAUTION ヘッダーの全てのアドレスが BCC 変換された場合に挿入されます。</td> </tr> <tr> <td>除外アドレス</td> <td>BCC 変換から除外するメールアドレスを最大 10 件まで登録できます。</td> </tr> <tr> <td>通知</td> <td>チェックすると BCC 変換時に差出人に通知します。</td> </tr> </table> | To ヘッダー | To ヘッダーに挿入するメールアドレスを「undisclosed-recipients;」もしくは「差出人のメールアドレス」を選択します。 CAUTION ヘッダーの全てのアドレスが BCC 変換された場合に挿入されます。 | 除外アドレス | BCC 変換から除外するメールアドレスを最大 10 件まで登録できます。 | 通知 | チェックすると BCC 変換時に差出人に通知します。 |
| | | To ヘッダー | To ヘッダーに挿入するメールアドレスを「undisclosed-recipients;」もしくは「差出人のメールアドレス」を選択します。 CAUTION ヘッダーの全てのアドレスが BCC 変換された場合に挿入されます。 | | | | | |
| | | 除外アドレス | BCC 変換から除外するメールアドレスを最大 10 件まで登録できます。 | | | | | |
| 通知 | チェックすると BCC 変換時に差出人に通知します。 | | | | | | | |
| BCC 化しない | 条件に該当するメールを BCC 変換しません。 | | | | | | | |
| 条件 | 条件を設定します。条件の内容については、「ルールの条件について」(P.34)をご参照ください。 | | | | | | | |

POINT

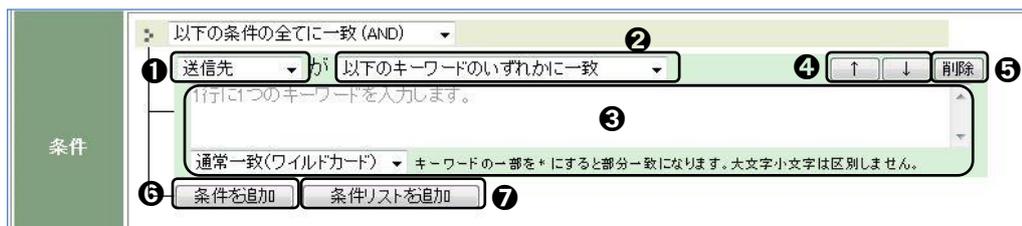
BCC 化ルールは、添付ファイル保護ルールの動作と組み合わせて利用ができます。

ルールの条件について

ルール編集画面の[条件]では、[動作]の対象となるメールの条件を設定します。

● 条件

メールを処理する条件を設定します。1 ルール内には条件リスト内の条件もあわせて最大 20 個まで定義することができます。＜条件を追加＞ボタンをクリックすると、条件の設定画面が表示されます。複数の条件を指定することができます。



① 評価対象の選択

評価対象をドロップダウンより選択します。

| | |
|-------------------------|--|
| 送信先*1 | エンベロープの送信先が評価対象になります。 |
| BCC*1 | BCC の送信先が評価対象になります。 |
| 差出人*2 | エンベロープの差出人が評価対象になります。 |
| ファイル名*2 | 添付ファイルのファイル名が評価対象になります。 |
| ヘッダー*2 | 送信するメールのヘッダー情報が評価対象になります。 |
| サブジェクト (Subject) | 件名が評価対象になります。 |
| 差出人 (From) * フィールド値全体 | From ヘッダー全体の文字列が評価対象になります。 |
| 差出人 (From) * 個別メールアドレス | From ヘッダーに含まれるメールアドレス部分のみ評価対象になります。 |
| 送信先 (To) * フィールド値全体 | To ヘッダー全体の文字列が評価対象になります。 |
| 送信先 (To) * 個別メールアドレス | To ヘッダーに含まれるメールアドレス部分のみ評価対象になります。 |
| 送信先 (Cc) * フィールド値全体 | Cc ヘッダー全体の文字列が評価対象になります。 |
| 送信先 (Cc) * 個別メールアドレス | Cc ヘッダーに含まれるメールアドレス部分のみ評価対象になります。 |
| コンテンツタイプ (Content-type) | Content-type ヘッダーが評価対象になります。 |
| その他 (右欄に入力) | 指定した任意のヘッダーが評価対象になります。 |
| IP アドレス*2 | 接続元の IP アドレスが評価対象になります。 |
| To, Cc 件数*3 | 送信先 (To) と複製送信先 (Cc) の件数の合計が評価対象になります。 |
| メールサイズ*4 | 送信するメールサイズが評価対象になります。 |
| 全ての添付ファイル*5 | 全ての添付ファイルが評価対象になります。 |
| 一部の添付ファイル*5 | 一部の添付ファイルが評価対象になります。 |

POINT

From, To, Cc ヘッダーのフィールド値全体と個別メールアドレスの違い

以下の例のような Cc ヘッダーのとき、

例) Cc: test01 <test01@example.com>, test02 <test02@example.com>

◆フィールド値全体

全ての文字列「test01 <test01@example.com>, test02 <test02@example.com>」が対象となります。

◆個別メールアドレス

アドレス部分の「test01@example.com」と「test02@example.com」のみ対象となります。

② 判定方法の選択

評価対象の判定方法をドロップダウンより選択します。①の評価対象によって選択できる判定方法は異なります。

| | | |
|----------|-----------------------|--|
| *1 *2 | 以下のキーワードのいずれかに一致 | 評価対象にキーワードがひとつでも含まれる場合に真(true)となります。 |
| | 以下のキーワードのいずれにも一致しない | 評価対象にキーワードがひとつも含まれない場合に真(true)となります。 |
| | 以下のキーワード以外を含む | 評価対象にキーワード以外が含まれる場合に真(true)となります。 |
| | 以下のキーワード以外を含まない | 評価対象にキーワードのみ含まれる場合に真(true)となります。 |
| *1 | 上長メールアドレスを全て含む※ | 評価対象にユーザーで定義されている上長メールアドレス全てが含まれる場合に真(true)となります。 |
| | 上長メールアドレスの全てを含んでいない※ | 評価対象にユーザーで定義されている上長メールアドレスがひとつも欠けている場合に真(true)となります。 |
| | 上長メールアドレスをひとつ以上含む※ | 評価対象にユーザーで定義されている上長メールアドレスがひとつでも含まれる場合に真(true)となります。 |
| | 上長メールアドレスをひとつも含まない※ | 評価対象にユーザーで定義されている上長メールアドレスがひとつも含まれない場合に真(true)となります。 |
| *3 | 件より多い | 評価対象が指定した件数より多い場合に真(true)となります。 |
| *4 | MB より大きい | 評価対象が指定したサイズより大きい場合に真(true)となります。 |
| *5 | ZIP パスワード保護されたファイル | 評価対象がパスワード保護されている ZIP ファイルの場合に真(true)となります。 |
| | ZIP パスワード保護されていないファイル | 評価対象がパスワード保護されていない ZIP ファイルではない場合に真(true)となります。 |

CAUTION

上長メールアドレスの有無を条件としたルールはブロックおよび保留ルールでのみ作成できます。

※は、添付ファイル保護、BCC ルールでは表示されません。

③ 評価対象のキーワード入力

1 行に 1 つのキーワードを入力します。複数のキーワードを指定する場合には、改行し 1 行 1 キーワードで入力します。キーワードは最大 500 個まで定義することができます。各キーワードは OR の関係性になります。また指定したキーワードの一致方法をドロップダウンリストから [通常一致(ワイルドカード)]または[拡張一致(正規表現)]を選択します。

| | |
|---------------|--|
| 通常一致(ワイルドカード) | <p>キーワードが一致するかどうかを判別します。"*"をワイルドカード(任意の文字列)として利用できます。</p> <p>POINT</p> <p>ワイルドカードとして使用する'*'(アスタリスク)を通常の文字列として認識させる場合には、'¥'をエスケープ文字として使用します。</p> <p>「*.jp」⇒ ".jp"で終わる任意の文字列と一致</p> <p>「¥*.jp」⇒ "*.jp"と一致</p> <p>「¥¥.jp」⇒ "¥.jp"と一致</p> |
| 拡張一致(正規表現) | <p>正規表現を使ったキーワード指定を行います。</p> <p>POINT</p> <p>利用できる正規表現文字一覧については、Appendix を参照してください。</p> |

④ 条件の評価順序の変更

| | |
|---|---------------|
| ↑ | 条件の評価順序を上げます。 |
| ↓ | 条件の評価順序を下げます。 |

⑤ 条件の削除

条件を削除します。

⑥ 条件の追加

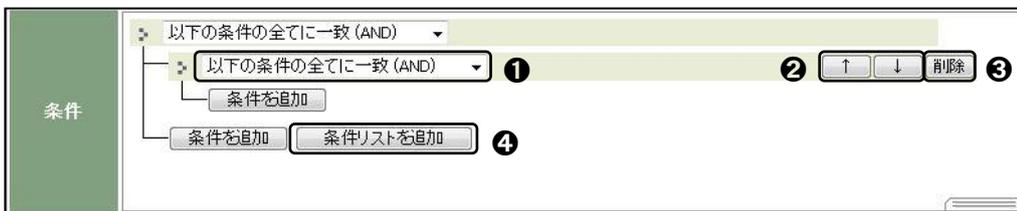
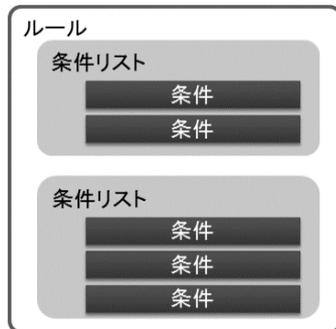
条件を追加します。クリックすると確認ダイアログが表示されます。

⑦ 条件リストの追加

条件リストを追加します。

● 条件リスト

条件リストは、複数の条件を判定するためのリストです。＜条件リストを追加＞ボタンをクリックすると、条件リストの設定画面が表示されます。条件同様、条件リストも複数設定できます。位置が上位にある条件リストが優先的に評価されます。



① リスト内条件の関係性の選択

| | |
|--------------------|--------------------------|
| 以下の条件の全てに一致 (AND) | 条件同士は論理積 (AND) の関係になります。 |
| 以下の条件のいずれかに一致 (OR) | 条件同士は論理和 (OR) の関係になります。 |

② 条件リストの評価順序の変更

| | |
|---|---------------|
| ↑ | 条件の評価順序を上げます。 |
| ↓ | 条件の評価順序を下げます。 |

③ 条件リストの削除

条件リストを削除します。クリックすると確認ダイアログが表示されます。

④ 条件リストの追加

条件リストを追加します。

CAUTION

ルールには、少なくとも 1 つの条件が設定されていなければなりません。

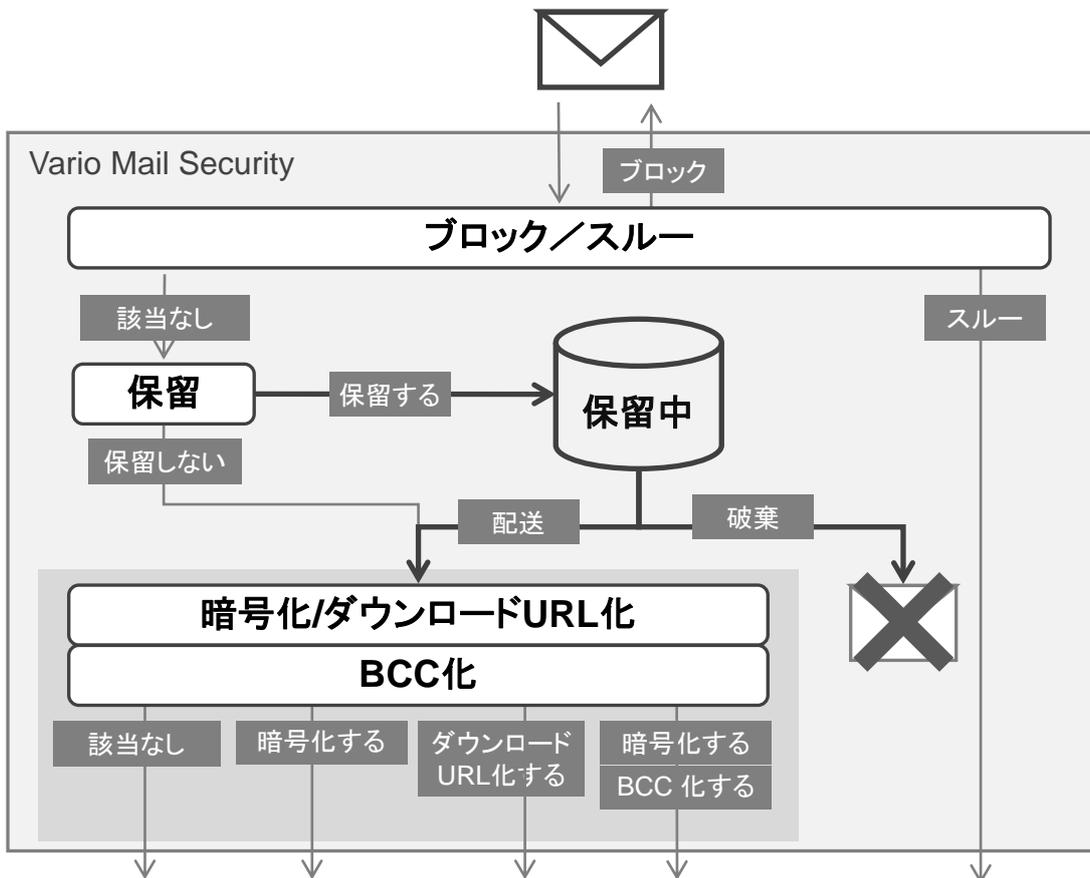
ルール判定と処理について(補足)

本サービスのルールの条件判定処理は、「システム」→「ブロック」→「保留」→「添付ファイル保護」→「BCC化」タブの順番で行われます。

送信したメールが、最初に行われるブロック(またはスルー)ルールの条件に合致した場合はそこで動作が決定され、ルール判定処理は終了します。

一方、保留ルール以降については、複数のタブに跨り条件判定処理が行われ、条件に合致したすべての動作が行われます。例えば、送信したメールが保留するルールの条件に合致し、さらに暗号化するルールの条件にも合致した場合には、保留処理がまず行われ、保留解放後、暗号化処理が行われます。保留したメールが破棄された場合には、その後の動作は実施されません。

また各ルールタブ内でのルール判定処理は上から順番に行い、最初に該当するルールが適用されます。

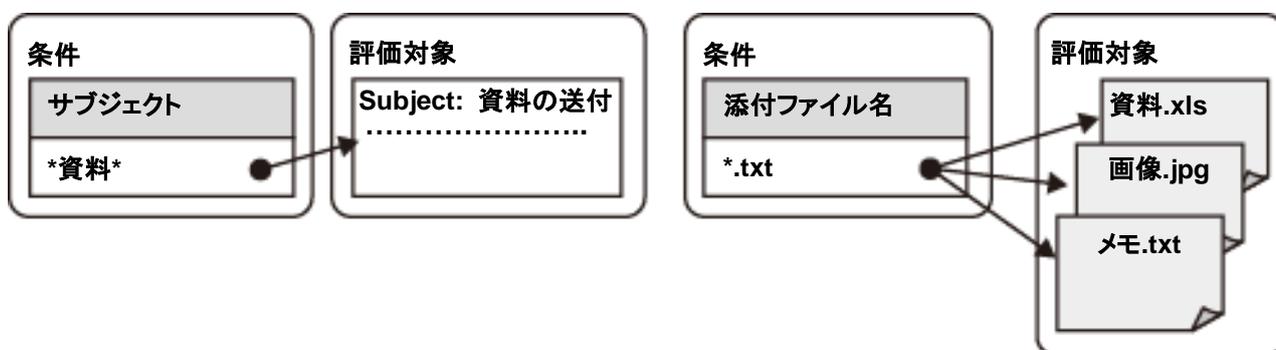


条件の判定方法と評価対象について(補足)

差出人やサブジェクトなど評価の対象になる値が常に1つしかない場合は、「一致する／一致しない」だけが判定基準になり、「以下のキーワードのいずれかに一致」もしくは「以下のキーワードのいずれにも一致しない」のどちらかで「判定方法」を選択します。(他の2つの判定方法、「以下のキーワード以外を含む」は「以下のキーワードのいずれにも一致しない」と、「以下のキーワード以外を含まない」は「以下のキーワードのいずれかに一致」と同じ判定結果となります。)

それに対し送信先や添付ファイルなど評価対象が複数になる可能性がある場合は、個々の対象に対する判定結果の組み合わせによって、最終的な判定結果が異なりますのでそれぞれの判定方法について理解しておく必要があります。

- 評価の対象が1つの場合(差出人、サブジェクトなど)
- 評価の対象が複数ある場合(送信先、添付ファイルなど)



- 複数の評価対象と「判定方法」による判定結果の違い

| 個々の判定結果 | | 最終的な判定結果 | | | |
|---------|---------|----------------------|--------------------------|---------------------|----------------------|
| 評価対象(1) | 評価対象(2) | 以下のキーワードのいずれかに一致(OR) | 以下のキーワードのいずれにも一致しない(NOR) | 以下のキーワード以外を含む(NAND) | 以下のキーワード以外を含まない(AND) |
| 不一致 | 不一致 | FALSE | TRUE | TRUE | FALSE |
| 一致 | 不一致 | TRUE | FALSE | TRUE | FALSE |
| 不一致 | 一致 | TRUE | FALSE | TRUE | FALSE |
| 一致 | 一致 | TRUE | FALSE | FALSE | TRUE |

※一致・不一致: 条件のキーワードと評価対象の比較結果

※TRUE・FALSE: 条件に合致する・条件に合致しない

POINT

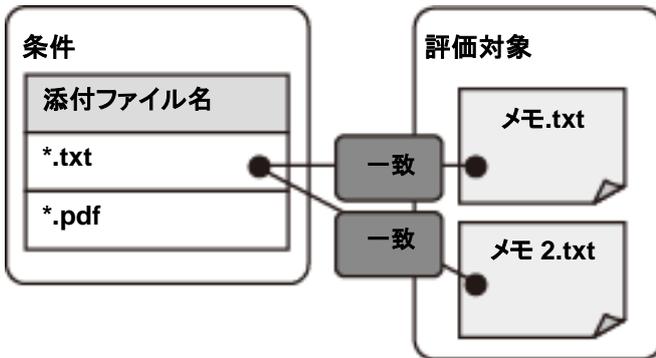
「判定方法」の選択に関わらず、条件のキーワードの関係性は常に「OR(論理和)」となります。

グループ管理メニュー

例えば、添付ファイル名を条件とし、メールには複数のファイルが添付されているとします。すべての添付ファイル名が条件のキーワードと一致する、もしくはすべて一致しない場合は、添付ファイルが1つしかない場合と同じで「以下のキーワードのいずれかに一致」と「以下のキーワード以外を含まない」、「以下のキーワードのいずれにも一致しない」と「以下のキーワード以外を含む」は同じ判定結果となります。

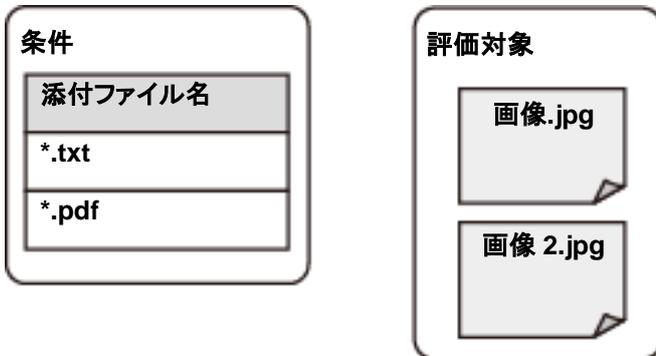
しかしキーワードに一致する添付ファイルと一致しない添付ファイルが混在する場合は、判定方法により、結果が異なります。作成するルールの目的によって適切な「判定方法」を選択してください。

●評価対象のすべてに一致する



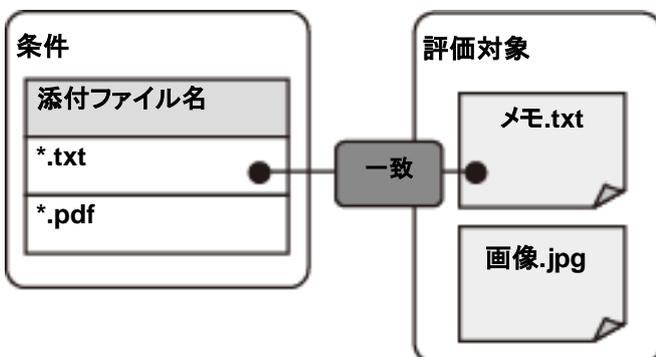
| | |
|------------------|-------|
| キーワードのいずれかに一致 | TRUE |
| キーワードのいずれにも一致しない | FALSE |
| キーワード以外を含む | FALSE |
| キーワード以外を含まない | TRUE |

●評価対象のすべてに一致しない



| | |
|------------------|-------|
| キーワードのいずれかに一致 | FALSE |
| キーワードのいずれにも一致しない | TRUE |
| キーワード以外を含む | TRUE |
| キーワード以外を含まない | FALSE |

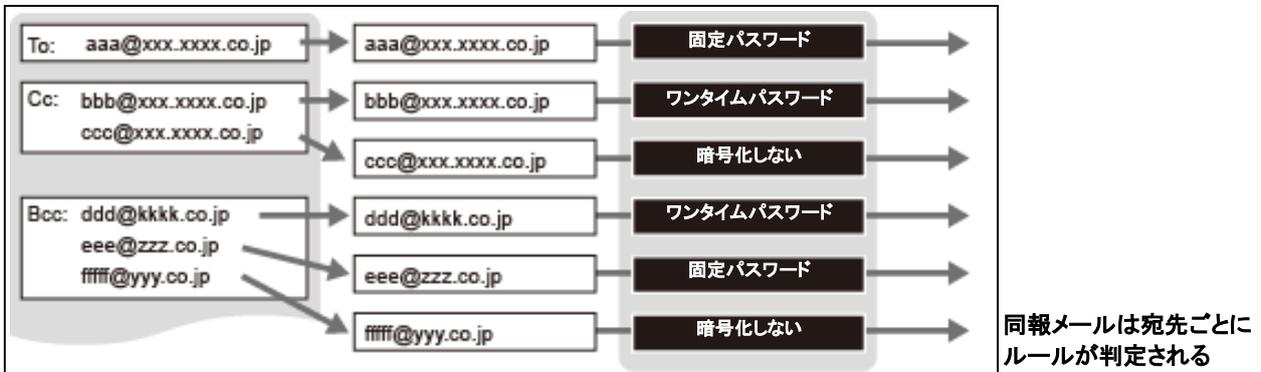
●「一致する」と「一致しない」が混在する



| | |
|------------------|-------|
| キーワードのいずれかに一致 | TRUE |
| キーワードのいずれにも一致しない | FALSE |
| キーワード以外を含む | TRUE |
| キーワード以外を含まない | FALSE |

複数の送信先に対する動作について(補足)

"CC"や"BCC"を含む同報メールを送信する場合、添付ファイル保護ルールやBCC化ルールはそれぞれ別々の宛先を持った電子メールと判断し、それぞれの宛先に対してルールの判断を行います。



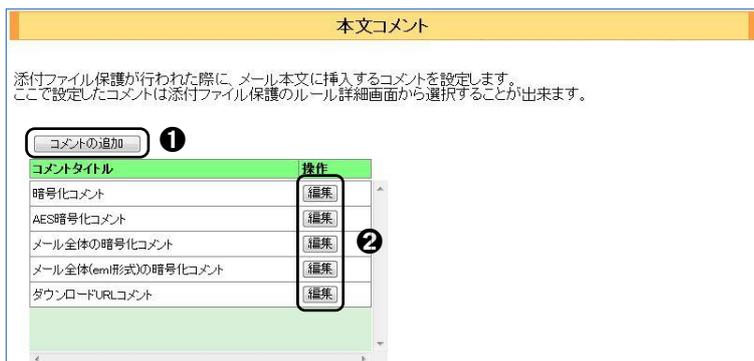
ただし、ブロック([ブロックする]と[スルーする])、保留([保留する]と[保留しない])では、同報メールの宛先すべてを包括して判断します。つまり、TO/CC/BCCの中に1つでも条件に当てはまる送信先があれば、そのメールすべての送信先に同じ動作が適用されます。



例えば、上図のような同報メールの場合に To の宛先には[スルーする]ルールがあり、その他の宛先では、保留や暗号化するルールが定義してあったとします。[スルーする]ルールは To の宛先にしか合致しませんが、すべての宛先を包括して処理するため、To の宛先だけではなく、すべての宛先に対して保留も暗号化もせず送信されます。

宛先を条件にしたルールを作成・登録する場合には、こうした点に注意してください。

本文コメント



暗号化またはダウンロード URL 化したメールに任意の定型文(本文コメント)を挿入できます。本文コメントは複数登録が可能で、登録した本文コメントは添付ファイル保護ルールの設定で選択できるようになります。

● コメントの追加・編集

1 本文コメントを追加するには、①<コメントの追加>ボタンをクリックします。登録されているコメントを編集するには、②<編集>ボタンをクリックします。



表示された項目を入力または編集し<登録>ボタンをクリックします。

| | | |
|--------------|---|----------------------|
| コメントタイトル | [本文コメント]画面に表示するタイトルを入力します。 | |
| 挿入するコメント | メールの本文に挿入するコメントを入力します。 | |
| 挿入するコメント(代替) | 文字コードの互換性の問題により上記設定の"挿入するコメント"が使用できない場合、代わりに挿入するコメントを入力します。入力できる文字は、制御文字を除くASCII文字(半角記号、半角英数字)のみです。 | |
| 挿入する位置 | コメントを挿入する位置を選択します。 | |
| | 先頭 | メール本文の先頭にコメントを挿入します。 |
| | 末尾 | メール本文の末尾にコメントを挿入します。 |

POINT

コメントにダウンロード画面の URL を挿入するキーワード「\$DOWNLOAD_URL」を利用できます。

CAUTION

代替コメントは、[コメント]が登録されていない、またはメールの本文に優先的に利用する「コメント」が文字コードの相違により挿入できない場合、使用されます。

CAUTION

本文コメントを登録・編集した場合、システムに設定を反映させる必要があります。設定反映については、「設定反映について」(P.9)をご覧ください。

● コメントを削除する

1

登録されているコメントの削除は、編集画面から行います。

2

本文コメント

コメント編集

添付ファイル保護が行われた際に、メール本文に挿入するコメントを設定します。対象のメールの文字コードによりコメントが挿入できない場合は代替のコメントが使用されます。ここで設定したコメントは添付ファイル保護のルール詳細画面から選択することができます。

コメントタイトル: 暗号化コメント

挿入するコメント: このメールの添付ファイルは暗号化されています。ファイルを開くためのパスワードは後ほど別のメールでお知らせ致します。

<利用可能キーワード>
\$DOWNLOAD_URL ダウンロードURL

挿入するコメント(代替): The attachment file of this mail is encrypted. Please open the file by using the password that will be sent later.

<利用可能キーワード>
\$DOWNLOAD_URL ダウンロードURL

挿入する位置: 末尾

登録 削除 キャンセル

コメント編集画面を開いたら、
<削除>ボタンをクリックします。

3

確認ダイアログが表示されたら<OK>ボタンをクリックします。

CAUTION

登録されている本文コメントを削除した場合、設定をシステムに反映させる必要があります。設定反映については、「設定反映について」(P.9)をご覧ください。

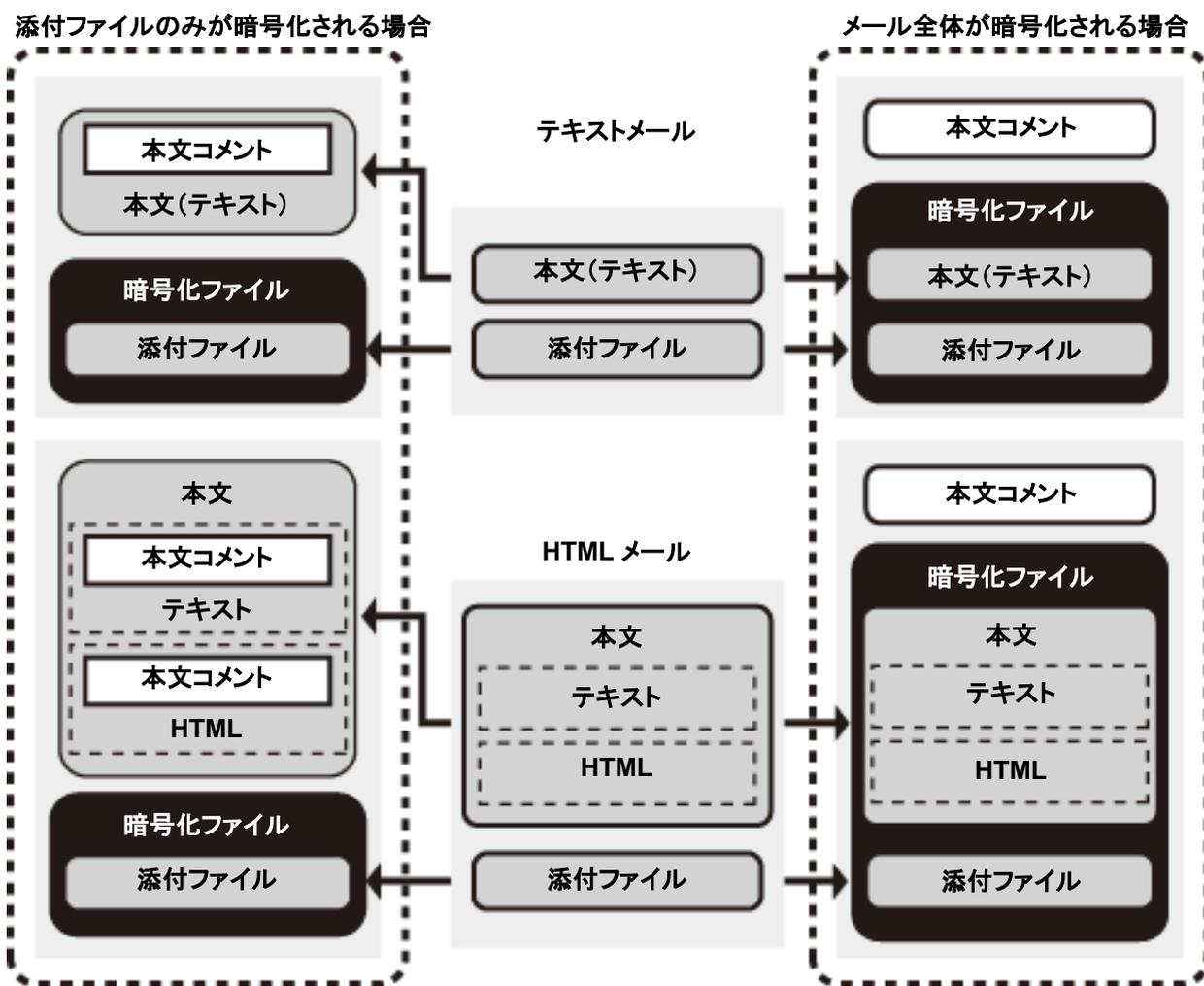
なお、ルールで使用されている本文コメントは削除できません。まずルールでの設定を解除してから削除を行ってください。

● 本文コメントの挿入処理について

本文コメントの挿入処理はユーザーが送信するメールの形式や登録したルールによって変化します。

添付ファイルのみ暗号化される場合、テキスト形式のメールでは本文テキストパート部分にコメントが挿入されます。HTML形式のメールでは本文HTMLパート部分にコメントが挿入され、本文テキストパートも存在すれば本文テキスト部分にもコメントが挿入されます。

また、「メール全体を暗号化する」オプションが有効なルールでの処理では、メールの形式にかかわらず、常にコメントは新しいテキストパートとして挿入されます。また、本文コメントの挿入位置が有効となるのは、既存の本文パートにコメントが挿入される場合のみとなります。



設定

ルールオプション

ルールオプション設定

ルール衝突オプション

送信先毎に異なる動作のルールが混在した際にブロックし、メールを送信できないようになります。

添付ファイル保護する/しないが混在するメールをブロックする

ランダム/固定パスワードが混在するメールをブロックする

ブロック通知メール

差出人(From):

サブジェクト:

本文: 以下のブロックが適用されました。

【一致したルール】
タイトル: \$RULE_TITLE

【検索メール情報】
検索先: \$FROM
送信先: \$TO
サブジェクト: \$SUBJECT
メールサイズ: \$MAIL_SIZE
添付ファイル: \$ATTACHMENT

<利用可能キーワード>

\$MAIL_ID メール処理ID
\$DATE メール受信した日時
\$SUBJECT メールのサブジェクト(オリジナル)
\$RULE_ID ルールのID
\$RULE_TITLE ルールのタイトル
\$TO 送信先メールアドレス
\$FROM 差出人メールアドレス
\$ATTACHMENT 添付ファイル名
\$F_ADDRESS 送信元アドレス
\$MAIL_SIZE メールサイズ
\$HEADER メールのヘッダー情報

文字コード: ISO-2022-JP UTF-8

ルールオプションの設定を行います。新規設定または設定変更後<登録>ボタンをクリックすると、設定内容が登録されます。

CAUTION

ルールオプション設定の登録および変更後には、サーバーへの設定反映が必要です。設定反映については、「設定反映について」(P.9)をご覧ください。

● ルール衝突オプション

送信する電子メールに対して、ルールによって異なる処理動作が当てはまる場合、電子メールの送信をブロックできます。

「添付ファイル保護する/しないが混在するメールをブロックする」

チェックすると、添付ファイル保護ルールで暗号化するもしくはダウンロード URL にする/添付ファイル保護しない のどちらにも当てはまる電子メールの送信をブロックします。

「ランダム/固定パスワードが混在するメールをブロックする」

チェックすると、添付ファイル保護ルールで固定パスワードとランダムパスワードのどちらにも当てはまる電子メールの送信をブロックします。

CAUTION

本機能は暗号化もしくはダウンロード URL 機能が有効な場合に表示されます。

● **ブロック通知メール**

ブロックの処理を通知するメール内容に関する設定を行います。

| | |
|--------|--------------------------------|
| 差出人 | 通知メールを送信する際の送信元メールアドレスを指定します。 |
| サブジェクト | メールの件名を指定します。 |
| 本文 | 通知メールの本文を指定します。 |
| 文字コード | ISO-2022-JP もしくは UTF-8 を選択します。 |

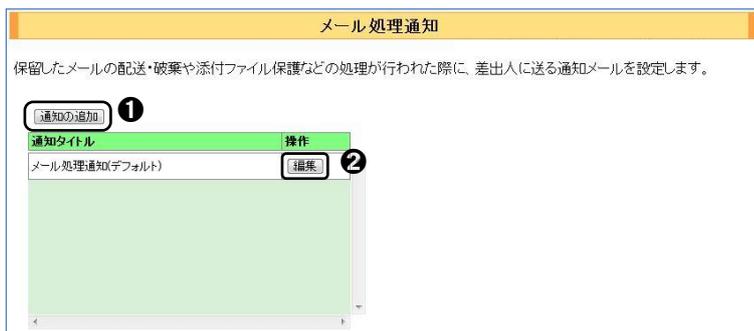
CAUTION

- 本機能はブロック機能が有効な場合に表示されます。
- 差出人はサービス納品状態では設定されていません。差出人の設定が空の場合、通知メールの送信に失敗しますので、ブロック通知をご利用の際は必ず設定してください。

ブロック通知メールのサブジェクト、本文には以下に示す変数を埋め込むことができます。

| 変数 | 内容 |
|--------------|-------------------------|
| \$MAIL_ID | メール処理 ID |
| \$DATE | オリジナルメールの日時 (Date ヘッダー) |
| \$SUBJECT | 処理した電子メールのサブジェクト |
| \$RULE_ID | ルール ID |
| \$RULE_TITLE | ルールのタイトル |
| \$TO | 送信先メールアドレス |
| \$FROM | 差出人メールアドレス |
| \$ATTACHMENT | 添付ファイル名 |
| \$IP_ADDRESS | メール送信元の IP アドレス |
| \$MAIL_SIZE | メールサイズ |
| \$HEADER | メールヘッダー情報 |

メール処理通知



保留後の配送・破棄、添付ファイル保護やBCC化処理した際に差出人に送信される通知メールに関する設定を行います。本通知は複数定義することが可能で、処理内容に応じて通知メールを変更することができます。

POINT

初期状態で用意されている[メール処理通知(デフォルト)]は、追加の通知がない場合または追加された通知の対象動作以外の場合に使用されるメール処理通知で編集のみ行うことができます。

CAUTION

本機能は保留・暗号化・ダウンロードURL・BCC化機能のいずれかが有効な場合に表示されます。

● メール処理通知の追加・編集

- 1 メール処理通知を追加するには、①<通知の追加>ボタンをクリックします。登録されている通知を編集するには、②<編集>ボタンをクリックします。

2

表示された項目を入力または編集し<登録>ボタンをクリックします。

CAUTION

メール処理通知設定の追加および編集後には、サーバーへの設定反映が必要です。設定反映については、「設定反映について」(P.9)をご覧ください。

グループ管理メニュー

| | | |
|--------------------|---------------------------------------|--|
| 対象動作 | メール処理通知の送信対象となる動作を選択します。(複数選択可) | |
| | 保留後の配送 | メール保留後の処理が配送処理のみの場合に通知され ます。 |
| | 保留後の破棄 | メール保留後に破棄された場合に通知され ます。 |
| | 暗号化 | (保留有無に関係なく)暗号化のみ処理が行われた場合に 通知されます。 |
| | ダウンロード URL | (保留有無に関係なく)ダウンロード URL 化のみ処理が行 われた場合に通知されます。 |
| | BCC 化 | (保留有無に関係なく)BCC 化のみ処理が行われた場合に 通知されます。 |
| | 暗号化とダウンロード URL | (保留有無に関係なく)暗号化とダウンロード URL 化の両 方の処理が行われた場合にのみ通知されます。 |
| | 暗号化と BCC 化 | (保留有無に関係なく)暗号化と BCC 化の両方の処理が行 われた場合にのみ通知されます。 |
| | ダウンロード URL と BCC 化 | (保留有無に関係なく)ダウンロード URL 化と BCC 化の両 方の処理が行われた場合にのみ通知されます。 |
| | 暗号化とダウンロード URL と BCC 化 | (保留有無に関係なく)暗号化とダウンロード URL と BCC 化 の 3 つの処理が行われた場合にのみ通知されます。 |
| 通知タイトル | 通知のタイトルを指定します。 | |
| 通知先 | 通知メールの送信先を指定します。 | |
| | エンベロープ FROM | 処理したメールのエンベロープの送信者が送信先になり ます。 |
| | From ヘッダー | 処理したメールのヘッダーの送信者が送信先になります。 |
| 差出人 | 通知メールの送信者を指定します。 | |
| | 処理したメールの差出人メールアドレス | 処理したメールの送信元メールアドレスが送信者アドレ スになります。 |
| | 指定アドレス | 指定したメールアドレスが送信者アドレスになります。 |
| サブジェクト | メールの件名を指定します。 | |
| 本文 | 通知メールの本文を指定します。 | |
| 動作情報表示形式 (日本語用) | 日本語用の処理された動作の情報やパスワード情報などの表示形式を指定します。 | |
| 動作情報表示形式 (英語用) | 英語用の処理された動作の情報やパスワード情報などの表示形式を指定します。 | |
| 文字コード | ISO-2022-JP もしくは UTF-8 を選択します。 | |
| メール形式 | プレーンテキストもしくは HTML を選択します。 | |

POINT

対象動作の複数選択は、「Ctrl」キーあるいは、「Shift」キーを利用します。連続した値を選択する際は「Shift」キーを押したまま選択範囲の最初と最後をクリックしてください。また連続的でない値を複数選択する際は「Ctrl」キーを押したまま値をクリックしてください。

グループ管理メニュー

メール処理通知メールのサブジェクト、本文およびパスワード表示形式には、次に示す変数を埋め込むことができます。

●メール処理通知のサブジェクト、本文(*本文のみ)に使用可能な変数一覧

| 変数 | 内容 |
|-------------------|---|
| \$MAIL_ID | メール処理 ID |
| \$DATE | オリジナルメールの日時(Date ヘッダー) |
| \$SUBJECT | 処理した電子メールのサブジェクト |
| \$MAIL_SIZE | メールサイズ |
| \$PASS_INFO* | 送信先ごとの動作情報。[動作情報表示形式]で設定された書式に展開されます。 動作情報形式(日本語用・英語用)の選択可能(日本語:\$PASS_INFO-JA、英語:\$PASS_INFO-EN)。指定なしの場合は動作情報形式(日本語用)となります。 |
| \$WEB_URL | メール確認画面の URL。保留しているメールの操作や、パスワード通知メールの送信を行う画面の URL が挿入されます。 |
| \$AUTOPASS_CANCEL | 自動パスワード通知をキャンセルする URL。英語・日本語表記の選択可能(日本語:\$AUTOPASS_CANCEL-JA、英語:\$AUTOPASS_CANCEL-EN)。指定なしの場合は日本語表記となります。 |
| \$SENDPASS_ALL | パスワード未通知の受信者にパスワードを通知する URL。英語・日本語表記の選択可能(日本語:\$SENDPASS_ALL-JA、英語:\$SENDPASS_ALL-EN)。指定なしの場合は日本語表記となります。 |
| \$DISCARD_COMMENT | 保留されたメールを破棄する際に入力されるコメント |

●動作情報表示形式に使用可能な変数一覧

| 変数 | 内容 |
|---------------------|---|
| \$ACTION | 処理種別キーワード。英語・日本語表記の選択可能(日本語:\$ACTION-JA、英語:\$ACTION_EN)。指定なしの場合は日本語表記となります。 |
| \$RCPT_TO | 送信先メールアドレス |
| \$OUT_SUBJECT | メールのサブジェクト(メール処理後) |
| \$PASSWORD | 送信先ごとのパスワード |
| \$ENC_FILENAMES | 暗号化されたファイルの名前 |
| \$ENC_DETAILS | 暗号化ファイルの内容 |
| \$DOWNLOAD_URL | ダウンロード画面の URL |
| \$DOWNLOAD_RCPT_URL | (受信者メールアドレス入力済み)ダウンロード画面の URL |
| \$DOWNLOAD_DETAILS | ダウンロードファイルの内容 |
| \$AUTO_SEND | 送信先ごとのパスワードの自動通知機能(有効な場合は ON、無効な場合は OFF が挿入されます。) |

CAUTION

システム管理メニューの[ウェブ設定]にある[WEB サーバー]が未設定の場合、変数「\$WEB_URL」「\$DOWNLOAD_URL」「\$DOWNLOAD_RCPT_URL」は正しく挿入されません。これらの変数を利用する場合は、必ず事前に[WEB サーバー]の設定を行ってください。

尚、サービス納品状態では[WEB サーバー]は設定されていません。

CAUTION

次のキーワードは保留機能が有効な場合に表示されます。

- \$DISCARD_COMMENT

次のキーワードは暗号化機能が有効な場合に表示されます。

- \$ENC_FILENAMES
- \$ENC_DETAILS

次のキーワードはダウンロード URL 機能が有効な場合に表示されます。

- \$DOWNLOAD_URL
- \$DOWNLOAD_RCPT_URL
- \$DOWNLOAD_DETAILS

次のキーワードは暗号化もしくはダウンロード URL 機能が有効な場合に表示されます。

- \$AUTOPASS_CANCEL
- \$SENDPASS_ALL
- \$PASSWORD
- \$AUTO_SEND

保留オプション

保留処理に関する設定を行います。新規設定または設定変更後<登録>ボタンをクリックすると、設定内容が登録されます。

CAUTION

保留オプション設定の登録および変更後には、サーバーへの設定反映が必要です。設定反映については、「設定反映について」(P.9)をご覧ください。

● 第三者チェック対象

メール送信先の中から第三者とみなし、保留通知メールを送信する対象をメールアドレスで指定します。

メールアドレスの指定には、ワイルドカード(半角文字の"*")が使用できます。また複数のメールアドレスを入力する場合、改行し、1行1アドレスを指定します。

● 保留中のメールに対する配送操作

保留中のメールに対する配送操作の許可・不許可を設定します。

| | |
|----------------|-------------------------------|
| 差出人: 配送操作を許可する | チェックをすると差出人本人が配送操作を行うことができます。 |
| 第三者: 配送操作を許可する | チェックをすると第三者が配送操作を行うことができます。 |

● 保留通知メール

保留した処理を通知する保留通知メール内容に関する設定を行います。

| | | |
|-----|--------------------|------------------------------|
| 通知先 | 保留通知メールの送信先を指定します。 | |
| | エンベロープ FROM | 処理したメールのエンベロープの送信者が送信先になります。 |
| | From ヘッダー | 処理したメールのヘッダーの送信者が送信先になります。 |
| 差出人 | 保留通知メールの送信者を指定します。 | |

グループ管理メニュー

| | | |
|--------------|--|----------------------------------|
| | 保留したメールの差出人メールアドレス | 保留したメールの送信元メールアドレスが送信者アドレスになります。 |
| | 指定アドレス | 指定したメールアドレスが送信者アドレスになります。 |
| サブジェクト(差出人宛) | 差出人用のメールの件名を指定します。以下に示す変数(キーワード)を使用できます。 | |
| サブジェクト(第三者宛) | 送信者/差出人と第三者とで異なるサブジェクトを指定したい場合に、第三者用のメールの件名を指定します。以下に示す変数(キーワード)を使用できます。 | |
| 本文 | 通知メールの本文を指定します。 | |
| 文字コード | ISO-2022-JP もしくは UTF-8 を選択します。 | |
| メール形式 | プレーンテキストもしくは HTML を選択します。 | |

保留通知メールのサブジェクト、本文(*本文のみ)に以下に示す変数を埋め込むことができます。

| 変数 | 内容 |
|------------------|---|
| \$MAIL_ID | メール処理 ID |
| \$DATE | オリジナルメールの日時(Date ヘッダー) |
| \$SUBJECT | メールの件名 |
| \$MAIL_FROM | 差出人メールアドレス |
| \$RCPT_TO* | 送信先メールアドレス |
| \$RELEASE_DATE | 保留期限 |
| \$RELEASE_ACTION | 保留後の処理 英語・日本語表記の選択可能(日本語:\$RELEASE_ACTION-JA、英語:\$RELEASE_ACTION_EN)。指定なしの場合は日本語表記となります。 |
| \$WEB_URL | メール確認画面 URL |
| \$DELIVER | 保留メールを配送する操作 英語・日本語表記の選択可能(日本語:\$DELIVER-JA、英語:\$DELIVER-EN)。指定なしの場合は日本語表記となります。 |
| \$DISCARD | 保留メールを破棄する操作 英語・日本語表記の選択可能(日本語:\$DISCARD-JA、英語:\$DISCARD-EN)。指定なしの場合は日本語表記となります。 |

CAUTION

メールアドレスの設定がされていない場合、保留ルールで「第三者チェック対象」に保留通知を送る」機能を有効とした場合でも保留通知メールは送信されません。また、社外や組織外など外部のメールアドレスが含まれるような指定をした場合、保留通知メールが外部へ送信されますのでご注意ください。

暗号オプション

暗号オプション設定

暗号化ファイルの接頭辞

暗号化されて添付されるファイル名の接頭辞です。

暗号化ファイルの接頭辞:

暗号化ファイルの日付フォーマット:

時間(HHmmss)

日付(yyyyMMddHHmmss)

暗号化ファイル名の変更

暗号化されて添付されるファイル名を、標準以外に変更する際のファイル名に関する設定を行います。

暗号化ファイルの拡張子:

暗号化ファイルのコンテンツタイプ:

添付ファイルのアーカイブ

暗号化対象の添付ファイルを1つの暗号化ファイル内にまとめることができます。

暗号化対象の添付ファイルを1つの暗号化ファイルにまとめる

ネストしたメッセージ対応

MMEパートがネストしているメールにおいて、階層を辿って暗号化対象の判断を行います。

有効にする (添付されたメールは除く)

無効にする

メール全体暗号化の本文テキストファイル文字コード

メール全体暗号化で本文テキストファイルに使用する文字コードを設定します。

シフト-JIS

UTF-8

オプション: 文字コード変換前の本文も添付する

ZIPファイルの文字コード

ZIPファイル中のファイル名に使用するデフォルトの文字コードを設定します。

「サブジェクトを隠す」で差し替えるサブジェクト

メール全体暗号化の「サブジェクトを隠す」オプションを有効にした場合に差し替えるサブジェクトを設定します。

差し替えるサブジェクト (日本語):

差し替えるサブジェクト (英語):

<利用可能なワード>
\$MAIL_ID メール処理ID

暗号化処理に関する設定を行います。新規設定または設定変更後<登録>ボタンをクリックすると、設定内容が登録されます。

CAUTION

暗号オプション設定の登録および変更後には、サーバーへの設定反映が必要です。設定反映については、「設定反映について」(P.9)をご覧ください。

● 暗号化ファイルの接頭辞

暗号化後のファイル名に関する設定をします。

| | | |
|------------------|---|---|
| 暗号化ファイルの接頭辞 | 暗号化後の添付ファイルのファイル名先頭に付与する文字列を 10 文字以内の半角英数字およびアンダーバー(大文字小文字は区別されます)で指定します。 | |
| 暗号化ファイルの日付フォーマット | 時間 | 接頭辞に続く文字列として、時刻(HHmmss)が利用されます。 |
| | 日付 | 接頭辞に続く文字列として、日時(yyyyMMddHHmmss)が利用されます。 |

POINT

暗号化後の ZIP ファイル名の命名規則は「接頭辞 + 処理時間(HHmmss / yyyyMMddHHmmss) + 暗号化ファイル数 + 拡張子」となります。

● 暗号化ファイル名の変更

暗号化ルールのオプション[暗号化したファイルの拡張子を標準以外に変更する]が有効な場合に利用するファイル名を設定します。

| | |
|------------------|--|
| 暗号化ファイルの拡張子 | 拡張子を 50 文字以内の半角英数字(大文字小文字は区別されます)で指定します。ただし"."(ドット)は先頭以外で使用できません。 |
| 暗号化ファイルのコンテンツタイプ | コンテンツタイプを半角文字 100 文字以内で指定します。コンテンツタイプについては特に理由がない限り、初期値(application/octet-stream)の状態でご利用されることをおすすめします。 |

POINT

標準の暗号化 ZIP ファイル名は、拡張子:.zip コンtentタイプ:application/x-zip-compressed です。

● 添付ファイルのアーカイブ

1 つの暗号化ファイル内にまとめて、暗号化対象の添付ファイルを送信する設定を行います。「暗号化対象の添付ファイルを 1 つの暗号化ファイルにまとめる」にチェックを入れると、複数の添付ファイルであっても 1 つの暗号化ファイル内にまとめて処理されるので効率的です。サービス納品時にはチェックが入った状態になっており、特に理由がない限り、初期値のままの状態でご利用されることをおすすめします。

● ネストしたメッセージ対応

このオプションが有効な場合、ネストしている(入れ子階層をしている)MIME パートに対して階層を辿って暗号化の判定を行います(最大 5 階層)。ただし、[添付されたメールは除く]にチェックがある場合には、添付ファイルがメール(message/rfc822)の場合には階層を辿ったチェックを行いません。

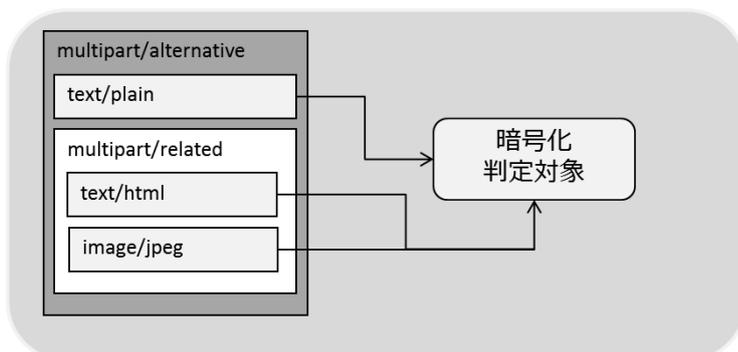
ネストしているパートとして扱う Content-Type は以下のとおりです。

- すべての"multipart"で始まる Content-Type
- "message/partial"を除く([添付されたメールは除く]が有効な場合、message/rfc822 も除外)すべての"message" で始まる Content-Type

無効の場合には、いずれのパートに対しても、階層を辿ったチェックを行わず、最上段のパートの Content-type に対して暗号対象かどうかの判断を行います。

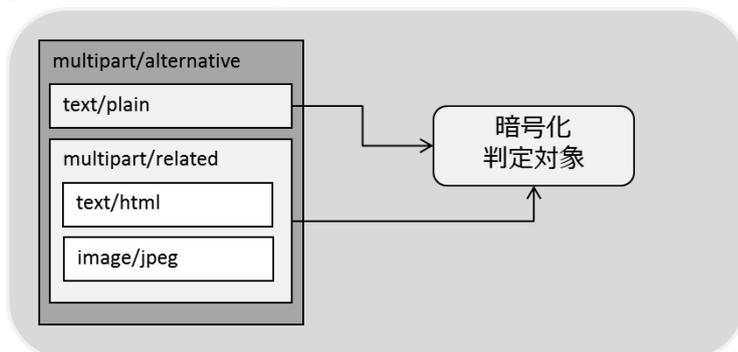
例) インライン画像付き HTML メール(典型的な)における処理の違い

[機能が有効な場合]



ネストしているパート
 “multipart/related”内に存在する
 “text/html”および“image/jpeg”に対し
 て暗号化判定が実施されます。
 “multipart/related”自体は常に暗号化
 対象より除外されます。

[機能が無効な場合]



ネストしているパート
 “multipart/related”内に存在するパート
 に対して暗号化判定は行われませ
 ん。
 ”multipart/related”自体が暗号化対象
 かどうかの判定が行われます。

● **メール全体暗号化の本文テキストファイル文字コード**

暗号化ルールによりメール全体(本文+添付ファイル)を暗号化した際、本文のテキストファイルを「シフトJIS」または「UTF-8」のいずれか一方の文字コードにします。オプションの[文字コード変換前の本文も添付する]をチェックすると、文字コード変換前の本文(emlファイル)を本文テキストファイルと一緒に添付します。

● **ZIP ファイルの文字コード**

ZIP ファイル内のファイル名に使用するデフォルトの文字コードをドロップダウンリストより選択します。

● **「サブジェクトを隠す」で差し替えるサブジェクト**

暗号化ルールによりメール全体を暗号化し、さらに「サブジェクトを隠す」オプションが有効になっている場合、サブジェクトを差し替える文字列を設定します。[差し替えるサブジェクト(日本語)]には日本語の差し替え文字列を、[差し替えるサブジェクト(英語)]には英語(半角文字)の差し替え文字列をそれぞれ入力します。差し替え文字列の中に変数「\$MAIL_ID」を利用すると、メール処理 ID が埋め込まれます。

ダウンロードオプション

ダウンロード処理に関する設定を行います。新規設定または設定変更後<登録>ボタンをクリックすると、設定内容が登録されます。

CAUTION

ダウンロードオプション設定の登録および変更後には、サーバーへの設定反映が必要です。設定反映については、「設定反映について」(P.9)をご覧ください。

【ダウンロードオプション設定】画面

● 標準ダウンロード上限回数

メール受信者がファイルをダウンロードできるデフォルトの上限回数を設定します。入力値は 1 以上 1,000 回以内で指定します。[変更を有効にする]にチェックをすると、送信者がメール確認画面でメール単位に変更が可能になります。

● 標準ダウンロード期限

メール受信者がファイルをダウンロードできるデフォルトの期限を設定します。入力値は 1 日以上グループプロパティの「最大ダウンロード期限」での設定日数以下で指定します。[変更を有効にする]にチェックをすると、送信者がメール確認画面でメール単位に変更が可能になります。

● ネストしたメッセージ対応

このオプションが有効な場合、ネストしている(入れ子階層をしている)MIME パートに対して階層を辿ってダウンロード URL 化の判定を行います(最大 5 階層)。ただし、[添付されたメールは除く]にチェックがある場合には、添付ファイルがメール(message/rfc822)の場合には階層を辿ったチェックは行いません。

ネストしているパートとして扱う Content-Type は以下のとおりです。

- すべての "multipart" で始まる Content-Type
- "message/partial"を除く([添付されたメールは除く]が有効な場合、message/rfc822 も除外)すべての "message" で始まる Content-Type

無効の場合には、いずれのパートに対しても、階層を辿ったチェックを行わず、最上段のパートの Content-type に対してダウンロード URL 化の対象かどうかの判断を行います。

● パスワードをロックするまでの回数

ダウンロード画面へパスワードを間違えてログインロックするまでの回数を設定します。1 以上 100 回以内で指定します。もしくは<無制限>を選択します。

● まとめてダウンロード（ZIP ファイル）の文字コード

まとめてダウンロードする際の ZIP ファイル内のファイル名に使用する文字コードを選択します。

POINT

受信者側でファイルをダウンロードする際、ダウンロード対象のファイルが複数存在する場合には、ZIP ファイルにまとめて一度でダウンロードすることができます。

パスワード

パスワード設定

固定パスワード

ルールで設定する固定パスワードに関する設定を行います。

最低文字数:

最大文字数:

ランダムパスワード

自動で生成されるランダムパスワードに関する設定を行います。

文字数:

文字テーブル:

パスワード送信先の自動選択

メール確認画面のパスワード送信のデフォルト状態を設定します。

パスワード未送信の送信先を自動的に選択する

自動パスワード通知

自動的にパスワードを通知する機能の設定を行います。
この機能はルールごとに有効にすることが出来ます。

自動通知待ち時間: 分

差出人にもCcで通知する

パスワード通知の選択

メール確認画面でパスワード通知を選択できるようにする設定です。

メール確認画面でパスワード通知を選択可能にする

添付ファイル保護ルールに使われるパスワードに関する設定を行います。設定または変更後<登録>ボタンをクリックすると、設定内容が登録されます。

CAUTION

パスワード設定の登録および変更後には、サーバーへの設定反映が必要です。設定反映については、「設定反映について」(P.9)をご覧ください。

● 固定パスワード

添付ファイル保護ルールに使用する固定パスワードに関する設定を行います。

| | |
|-------|---------------------------------|
| 最小文字数 | 固定パスワードに使う文字数の最小値(6以上)を指定します。 |
| 最大文字数 | 固定パスワードに使う文字数の最大値(100以下)を指定します。 |

● ランダムパスワード

添付ファイル保護ルールに使用するランダムパスワードに関する設定を行います。

| | |
|--------|--|
| 文字数 | 生成するパスワードの文字数(桁数)を指定します(6以上100以下の範囲)。 |
| 文字テーブル | パスワードに使用する文字を15文字以上で指定します。(同種文字の2回以上指定は不可) |

POINT

固定パスワードとランダムパスワードについて

固定パスワードとは、発信者が指定した任意の文字列をパスワードとして毎回利用することです。一方、ランダムパスワードはシステムが自動的に生成するものです。

固定パスワードは、送信先に毎回パスワードを通知する必要がないので利便性は高くなりますが、安全性は低くなります。ランダムパスワードは、文字テーブルで指定された文字を使ってシステムが自動的にパスワードを生成するため、安全性は高くなります。

CAUTION

パスワードに使用できる文字種は次のとおりです。
abcdefghijklmnopqrstuvwxyzABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789_+&%

● パスワード送信先の自動選択

パスワード通知メールの一括送信方法に関する設定を行います。

[パスワード未送信の送信先を自動的に選択する]をチェックすると、メール確認画面で未送信の送信先に一括してパスワード通知を送信する機能が有効となります。一方、この設定が無効の場合はパスワード通知を送るために送信先を1つずつ選択して送信する必要があります。

● 自動パスワード通知

受信者に自動的にパスワードを通知する設定を行います。この設定は、ルールごとに有効または無効に指定することができます。

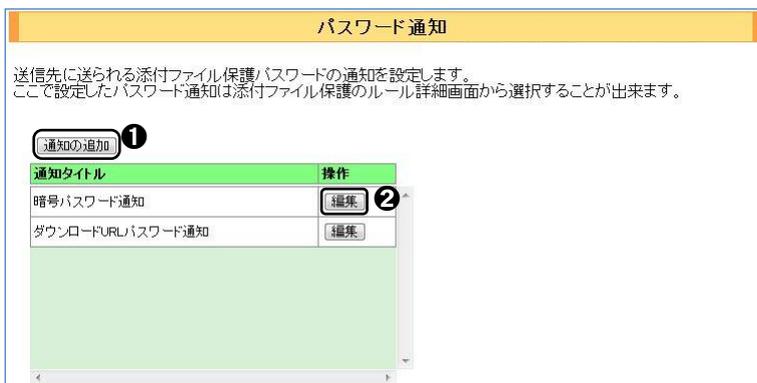
| | |
|--------------|-------------------------------------|
| 自動通知待ち時間 | 受信者に自動的に通知されるパスワード通知メールの待機時間を指定します。 |
| 差出人にもCcで通知する | チェックを入れると、送信元にもパスワード通知メールが送信されます。 |

● パスワード通知の選択

メール確認画面において送信者がパスワード通知の選択有無について設定を行います。

[メール確認画面でパスワード通知を選択可能にする]にチェックをすると、パスワード通知を複数定義している場合、送信者がメール確認画面で通知の選択をすることができます。

パスワード通知



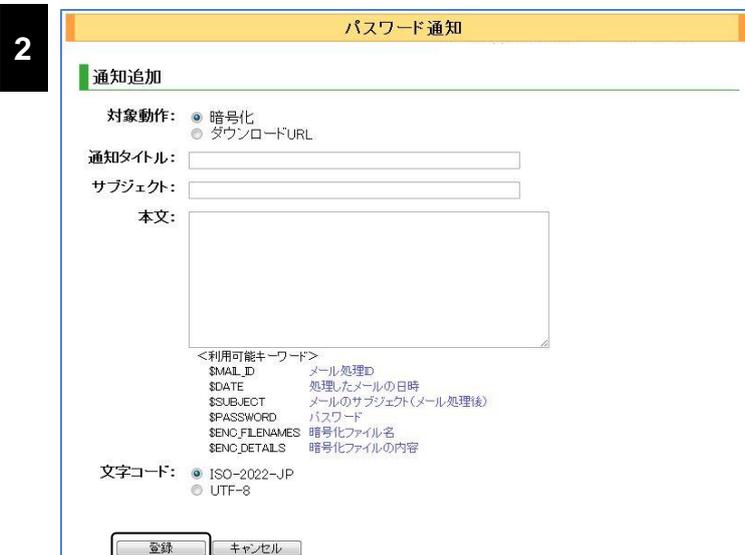
暗号化やダウンロード URL 化した際に受信者に送信するパスワード通知に関する設定を行います。パスワード通知は複数定義することができ、添付ファイル保護ルールの設定でルールごとに通知を選択することが可能です。

CAUTION

本機能は暗号化・ダウンロード URL 化機能のいずれかが有効な場合に表示されます。

● パスワード通知の追加・編集

- 1 パスワード通知を追加するには、①<通知の追加>ボタンをクリックします。登録されている通知を編集するには、②<編集>ボタンをクリックします。



表示された項目を入力または編集し、登録ボタンをクリックします。

CAUTION

メール処理通知設定の追加および編集後には、サーバーへの設定反映が必要です。設定反映については、「設定反映について」(P.9)をご覧ください。

| | | |
|--------|--------------------------------|-------------------------------|
| 対象動作 | パスワード通知を選択可能とする対象の動作を選択します。 | |
| | 暗号化 | 暗号化のルールで選択することができます。 |
| | ダウンロード URL | ダウンロード URL 化のルールで選択することができます。 |
| 通知タイトル | 通知のタイトルを指定します。 | |
| サブジェクト | メールの件名を指定します。 | |
| 本文 | 通知メールの本文を指定します。 | |
| 文字コード | ISO-2022-JP もしくは UTF-8 を選択します。 | |

グループ管理メニュー

メール処理通知メールのサブジェクト、本文およびパスワード表示形式には、以下に示す変数を埋め込むことができます。

●パスワード通知(サブジェクト、本文)に使用可能な変数一覧

| 変数 | 内容 |
|---------------------|--|
| \$MAIL_ID | メール処理 ID |
| \$DATE | オリジナルメールの日時(Date ヘッダー) |
| \$SUBJECT | 処理した電子メールのサブジェクト |
| \$PASSWORD | 暗号化: 解凍用パスワード ダウンロード URL 化: ダウンロード画面へのログインパスワード |
| \$ENC_FILENAMES | 暗号化後の ZIP ファイル名 |
| \$ENC_DETAILS | 暗号化された ZIP ファイルの内容 |
| \$DOWNLOAD_URL | ダウンロード画面の URL |
| \$DOWNLOAD_RCPT_URL | (受信者メールアドレス入力済み) ダウンロード画面の URL |
| \$DOWNLOAD_DETAILS | ダウンロードファイルの内容 |

CAUTION

次のキーワードは対象動作が暗号化を選択された場合に表示されます。

- \$ENC_FILENAMES
- \$ENC_DETAILS

次のキーワードは対象動作がダウンロード URL を選択された場合に表示されます。

- \$DOWNLOAD_URL
- \$DOWNLOAD_RCPT_URL
- \$DOWNLOAD_DETAILS

除外ファイルタイプ

除外ファイルタイプ設定

添付ファイル保護の対象から除外するファイルタイプを設定できます。チェックが付いているファイルタイプに一致する添付ファイルは保護されません。無効にする場合は、チェックを外して登録ボタンを押して下さい。

ファイルタイプの追加

| 有効 | ファイルタイプ | 操作 |
|-------------------------------------|---------|-----------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | TEXT | <input type="button" value="編集"/> |
| <input type="checkbox"/> | HTML | <input type="button" value="編集"/> |

登録 キャンセル

暗号化やダウンロード URL 化の対象から除外するファイルタイプの管理を行います。

CAUTION

ファイルタイプの登録、有効・無効の切り替え、削除の各操作後には、サーバーへの設定反映が必要です。設定反映については、P.9「設定反映について」をご覧ください。

POINT

ファイルタイプには、送信される電子メールのヘッダーおよびボディ内に情報として組み込まれている MIME タイプ(データの種類)と添付ファイルのファイル名を指定します。

登録済みのファイルタイプ[TEXT]の定義内容は、電子メール本文を指しています。したがって、ファイルタイプ[TEXT]を無効にすると、電子メール本文も暗号化およびダウンロード URL の対象となります。

POINT

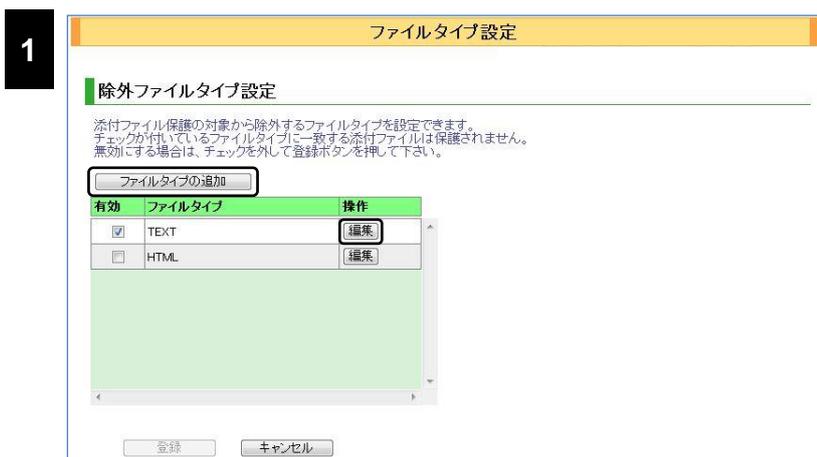
MIME タイプには次のようなものがあります。

| Content-Type | 内容 |
|--------------------|-------------------------|
| text/html | HTML 形式文書ファイル |
| text/css | CSS ファイル |
| application/msword | Microsoft Word 形式文書ファイル |
| application/zip | zip 形式書庫ファイル |
| image/jpeg | JPEG 形式画像データ |
| image/gif | GIF 形式画像データ |
| audio/mpeg | mpeg 形式音声データ |
| video/mpeg | mpeg 形式動画データ |
| video/quicktime | QuickTime 形式動画データ |

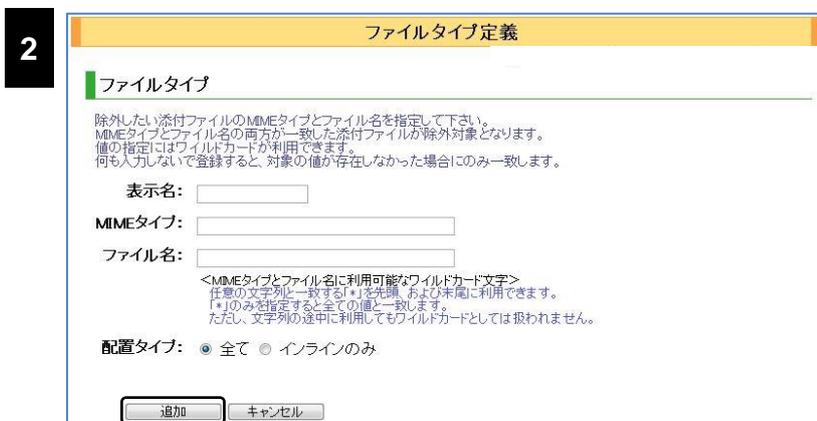
その他、ファイルタイプの詳細に関しては下記の URL を参照してください。

IANA MIME Media Types
<http://www.iana.org/assignments/media-types/>

● 除外ファイルタイプの追加・編集



添付ファイル保護処理から除外するファイルタイプを追加するには、[ファイルタイプ設定]画面で<ファイルタイプの追加>ボタンをクリックします。登録している除外ファイルタイプを編集するには、<編集>ボタンをクリックします。



[ファイルタイプ定義]画面が表示されます。次の表を参考に各項目を入力・編集します。各項目への入力が終了したら<追加>または<変更>ボタンをクリックします。

| | |
|---------|----------------------------------|
| 表示名 | [ファイルタイプ設定]画面のリストに表示する名称を指定します。 |
| MIMEタイプ | 除外したい添付ファイルのMIMEタイプを指定します。 |
| ファイル名 | 除外したい添付ファイルのファイル名を指定します。 |
| 配置タイプ | 全て(配置タイプは関係なし)または インラインのみを選択します。 |

CAUTION

MIMEタイプとファイル名の入力内容は"AND"で判断されます。両方の項目に文字列が入力されている場合、その両方の文字列に合致するヘッダー情報を持つ電子メールのみが判別対象となります。

POINT

配置タイプの「インラインのみ」は、例えば、HTMLメールのインライン画像を添付ファイルの画像とは区別して暗号化やダウンロードURL対象から除外したい場合などに利用します。

「インラインのみ」と判定されるのは、以下の場合です。

「親のContent-Typeが multipart/related」かつ

MIMEヘッダーの「Content-Dispositionが inline」もしくはMIMEヘッダーに「Content-IDが存在する」

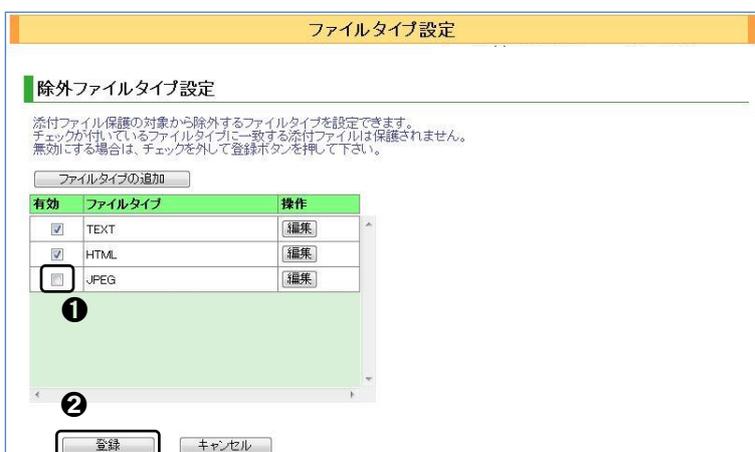
POINT

MIME タイプ及びファイル名の指定には、ワイルドカード(半角文字の"*)が使用できます。ワイルドカードを使用することで、以下のような特殊な指定が可能となります。

| 入力値 | 内容 |
|------|------------------------|
| 未入力 | 情報が存在しない。あるいは値が空の場合に一致 |
| *のみ | 全ての値に一致 |
| 末尾が* | 前方一致 |
| 先頭が* | 後方一致 |
| 前後に* | 部分一致 |
| 上記以外 | 完全一致 |

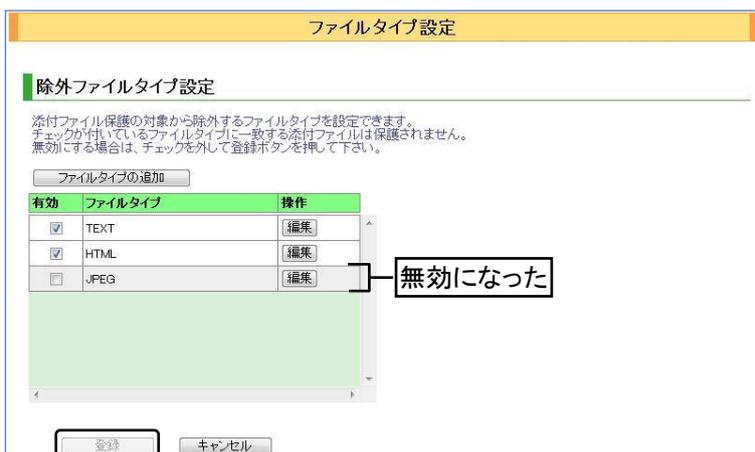
除外ファイルタイプを無効にする

1



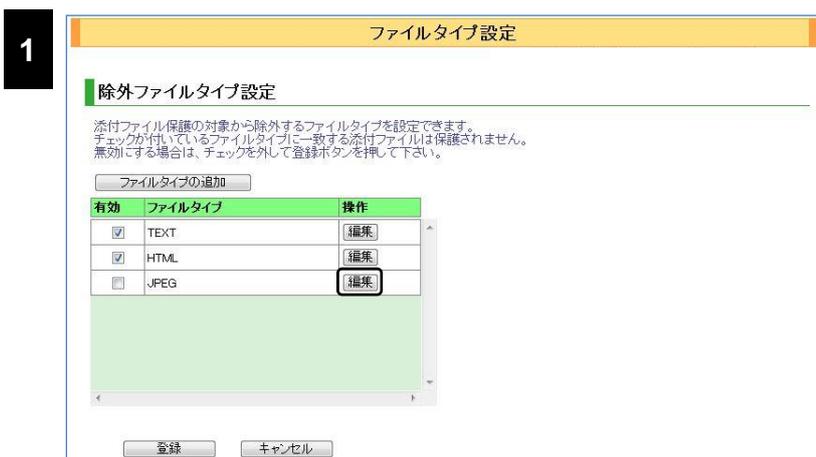
除外するファイルタイプの設定を一時的に無効にできます。
[ファイルタイプ設定]画面のリストから、無効にしたいファイルタイプのチェックボックスをクリックし、①チェックを外して、②<登録>ボタンをクリックします。

2

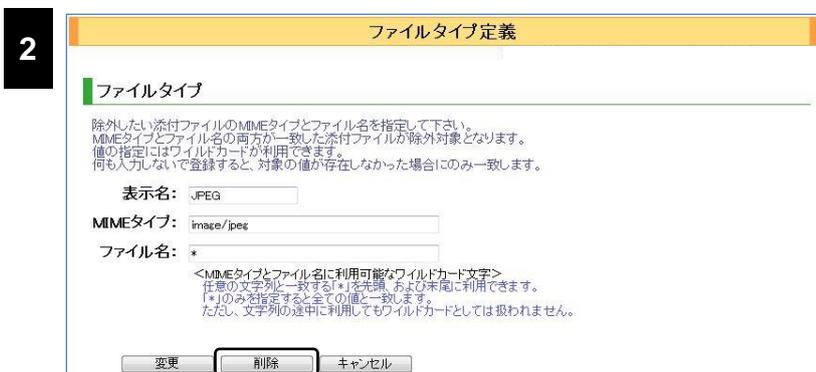


<登録>ボタンをクリックするとリストの背景色が暗く変化し、設定が無効になります。

● 除外ファイルタイプを削除する



削除する対象のファイルタイプの [編集] をクリックします。



[ファイルタイプ定義]画面が開いたら、<削除>ボタンをクリックします。

3 確認ダイアログが表示されたら、<OK>ボタンをクリックします。

アクセス制限

アクセス制限設定

IPアドレスによるアクセス制限の設定などを行います。
設定した内容は設定反映後に有効になります。

現在のあなたの IP アドレス
192.168.0.11

管理画面アクセス制限

許可ネットワーク: アクセスを許可するネットワークです。改行区切りで複数入力できます。何も入力しなければ全てのアドレスからのアクセスを許可します。

拒否ネットワーク: アクセスを拒否するネットワークです。改行区切りで複数入力できます。ここに指定されたネットワークからのアクセスは、許可ネットワークの範囲内でも拒否されます。

メール確認画面アクセス制限

許可ネットワーク: アクセスを許可するネットワークです。改行区切りで複数入力できます。何も入力しなければ全てのアドレスからのアクセスを許可します。

拒否ネットワーク: アクセスを拒否するネットワークです。改行区切りで複数入力できます。ここに指定されたネットワークからのアクセスは、許可ネットワークの範囲内でも拒否されます。

ダウンロード画面アクセス制限

許可ネットワーク: アクセスを許可するネットワークです。改行区切りで複数入力できます。何も入力しなければ全てのアドレスからのアクセスを許可します。

拒否ネットワーク: アクセスを拒否するネットワークです。改行区切りで複数入力できます。ここに指定されたネットワークからのアクセスは、許可ネットワークの範囲内でも拒否されます。

本管理画面、およびメール確認画面へのアクセス制限の設定を行います。設定後、<登録>ボタンをクリックします。

[アクセス制限設定]画面

CAUTION

「拒否ネットワーク」に登録された IP アドレスは、許可ネットワークの範囲でも拒否されます。設定を誤ると管理画面へアクセスできなくなるおそれがあります。設定には十分ご注意ください。

● 管理画面アクセス制限

本管理画面へのアクセス許可・拒否を設定できます。

| | |
|----------|---|
| 許可ネットワーク | 本管理画面へのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を「IP アドレス」または「IP アドレス/ネットマスク」の形式で指定します。何も指定しない場合、すべての IP アドレスからのアクセスが許可されます。 |
| 拒否ネットワーク | 本管理画面へのアクセスを拒否する IP アドレスの範囲を「IP アドレス」または「IP アドレス/ネットマスク」の形式で指定します。ここに指定した IP アドレスからのアクセスを拒否することができます。この設定は「許可ネットワーク」の設定よりも優先されます。 |

● メール確認画面アクセス制限

メール確認画面へのアクセス許可・拒否を設定できます。

| | |
|----------|---|
| 許可ネットワーク | メール確認画面へのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を「IP アドレス」または「IP アドレス/ネットマスク」の形式で指定します。何も指定しない場合、すべての IP アドレスからのアクセスが許可されます。 |
| 拒否ネットワーク | メール確認画面へのアクセスを拒否する IP アドレスの範囲を「IP アドレス」または「IP アドレス/ネットマスク」の形式で指定します。ここに指定した IP アドレスからのアクセスを拒否することができます。この設定は「許可ネットワーク」の設定よりも優先されます。 |

● ダウンロード画面アクセス制限

ダウンロード画面へのアクセス許可・拒否を設定できます。

| | |
|----------|--|
| 許可ネットワーク | ダウンロード画面へのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を「IP アドレス」または「IP アドレス/ネットマスク」の形式で指定します何も指定しない場合、すべての IP アドレスからのアクセスが許可されます。 |
| 拒否ネットワーク | ダウンロード画面へのアクセスを拒否する IP アドレスの範囲を「IP アドレス」または「IP アドレス/ネットマスク」の形式で指定します。ここに指定した IP アドレスからのアクセスを拒否することができます。この設定は「許可ネットワーク」の設定よりも優先されます。 |

CAUTION

[メール確認画面アクセス制限]は保留・暗号化・ダウンロード URL・BCC 化機能のいずれかが有効な場合に表示されます。

[ダウンロード画面アクセス制限]はダウンロード URL 機能が有効な場合に表示されます。

レポートオプション

レポートオプション設定

レポート統計メール

レポート統計の内容を定期的にメールで送信する設定を行います。

集計区分: 日別の統計レポートを送信する
 週別の統計レポートを送信する
 月別の統計レポートを送信する

差出人(From):

送信先:

言語: 日本語 英語

[メール処理]のレポートに関する設定を行います。設定後<登録>ボタンをクリックすると、設定内容が登録されます。

CAUTION

設定の変更後には、サーバーへの設定反映が必要です。設定反映については、「設定反映について」(P.9)をご覧ください。

● レポート統計メール

レポート統計の内容を定期的にメールで送信することができます。[集計区分]で送信するレポートの種類を選択し、差出人と送信先を入力します。メールは午前3時の集計処理終了時に送信されます。

| | | |
|------|------------------------------------|--------------------------|
| 集計区分 | 日別の統計レポートを送信する | チェックをすると日別の統計レポートを送信します。 |
| | 週別の統計レポートを送信する | チェックをすると週別の統計レポートを送信します。 |
| | 月別の統計レポートを送信する | チェックをすると月別の統計レポートを送信します。 |
| 差出人 | 送信元メールアドレスを入力します。 | |
| 送信先 | 送信先アドレスを入力します改行することで複数の送信先を指定できます。 | |
| 言語 | 日本語もしくは英語を選択します。 | |

ユーザーオプション

ユーザーオプション設定

パスワードをロックするまでの回数

連続してパスワードを間違えた際に、ログインできないようにロックさせます。

5 回

無制限

パスワードのロック期間

ロック状態のユーザーを自動でロック解除します。
無期限も指定した場合、ロックを解除するにはユーザー管理から手動でロック解除を行うまでロックは解除されません。

9 日

無期限(自動解除無し)

ロック通知メール

ロックしたことを通知するメールです。

通知先: マネージャーへ通知する
 ロックしたユーザーへ通知する
 次の電子メールアドレスへ通知する

差出人(From): ロックした本人

サブジェクト: [safeAttach] アカウントロック通知

本文: アカウントがロックされました。
ロックが解除されるまでログインすることはできません。

ロック日時: \$DATE
メールアドレス: \$MAIL_ADDR
ログインID: \$LOGIN_PASS
接続元ブラウザ情報: \$USER_AGENT

<利用可能キーワード>
\$DATE ロックした日時
\$MAIL_ADDR ロックしたメールアドレス(ログインID)
\$LOGIN_PASS ログインを行った端末のメールアドレス
\$USER_AGENT ログインを行った端末のブラウザの情報

文字コード: ISO-2022-JP
 UTF-8

ログインパスワード通知メール

登録したユーザーにログインパスワードを通知するメールです。
実際に通知する場合は、登録時に個別に指定します。

差出人(From): 登録作業着

サブジェクト: [safeAttach] アカウント登録通知

本文: アカウントが登録されました。

登録日時: \$DATE
ログインID: \$MAIL_ADDR
パスワード: \$LOGIN_PASS

<利用可能キーワード>
\$DATE 登録された日時
\$MAIL_ADDR 登録されたメールアドレス(ログインID)
\$LOGIN_PASS 登録されたログインパスワード
\$ADMIN_MAIL_ADDR 登録作業を行ったユーザーのメールアドレス

文字コード: ISO-2022-JP
 UTF-8

登録 キャンセル

ログインロックなどユーザーのログインに関する設定を行います。

設定や変更が終了したら<登録>ボタンをクリックします。

CAUTION

設定の変更後には、サーバーへの設定反映が必要です。設定反映については、「設定反映について」(P.9)をご覧ください。

● パスワードをロックするまでの回数

ログイン時のパスワード誤入力を、何回まで許可するかを1~100までの数値で指定します。
[無制限]を選択すると、ログインロック機能は無効になります。

● パスワードのロック期間

ログインロックを自動解除するまでの時間を、0.1~100.0までの小数点第一位までの数値で指定します。
[無期限]を選択すると自動解除機能は無効となり、[管理]の[ユーザー]メニューでロックを解除するまで、ログインロックされたままとなります。

● ロック通知メール

ログインロックされた際に送信するメールに関する設定を行います。

| | | |
|----------------|---|---------------------------|
| 通知先 | ログインロックを通知するメール送信先を指定します。複数の送信先を選択できます。 | |
| グループ管理者へ通知する | グループ管理者にログインロックの通知を行います。 | |
| ロックしたユーザーへ通知する | パスワードをロックしたユーザーに通知を行います。 | |
| 次のメールアドレスへ通知する | 入力された電子メールアドレスに、ログインロックの通知を行います。 | |
| 差出人 | ロック通知メールの送信者を指定します。 | |
| | ロックした本人 | ロックされた本人が送信者アドレスになります。 |
| | 指定アドレス | 指定したメールアドレスが送信者アドレスになります。 |
| サブジェクト | メールの件名を指定します。 | |
| 本文 | 通知メールの本文を指定します。 | |
| 文字コード | ISO-2022-JP もしくは UTF-8 を選択します。 | |

通知メールの本文には、変数を埋め込むことができます。

● ロック通知メールに使用可能な変数一覧

| 変数 | 内容 |
|--------------|-----------------------|
| \$DATE | ロックした日時 |
| \$MAIL_ADDR | ロックしたメールアドレス |
| \$IP_ADDR | ログイン操作を行った端末の IP アドレス |
| \$USER_AGENT | ログイン操作を行ったブラウザの情報 |

● ログインパスワード通知メール

グループ管理メニュー[管理]の[ユーザー]でユーザーを登録する際、ログインパスワードを通知するメールの設定を行います。

| | |
|--------|--|
| 差出人 | 通知メールを送信する際の送信元メールアドレスを指定します。[登録業者]を選択すると、ユーザー登録を行った管理者のメールアドレスで通知メールが送信されます。入力欄にメールアドレスを入力して選択すれば、入力したメールアドレスで通知メールが送信されます。 |
| サブジェクト | メールの件名を指定します。 |
| 本文 | 通知メールの本文を指定します。 |
| 文字コード | ISO-2022-JP もしくは UTF-8 を選択します。 |

通知メールの本文には、変数を埋め込むことができます。

●パスワード通知メールに使用可能な変数一覧

| 変数 | 内容 |
|-------------------|-----------------------|
| \$DATE | ユーザー登録された日時 |
| \$MAIL_ADDR | ユーザー登録された電子メールアドレス |
| \$LOGIN_PASS | ログインパスワード |
| \$ADMIN_MAIL_ADDR | 登録作業を行った管理者の電子メールアドレス |

管理

ユーザー

ユーザーの登録・削除・変更、状態の確認を行います。ユーザーの情報には、ログイン ID、ログインパスワード、ユーザーのタイプや SMTP 認証情報などが含まれます。

ユーザー一覧

入力された値と部分一致する電子メールアドレスのユーザーを検索します。
何も入力せずに検索すると全てのユーザーが検索されます。

検索メールアドレス:

グループ管理者のみ ロック状態のみ

| 番号 | 電子メールアドレス | タイプ | ロック | 機能 | 操作 |
|----|-----------|-----|-----|----|----|
|----|-----------|-----|-----|----|----|

検索する電子メールアドレスを入力して下さい。

[トップへ戻る](#)

[ユーザー一覧]画面

POINT

ユーザーのタイプ

ユーザーのタイプは、「グループ管理者」と「利用者」が存在します。

「グループ管理者」はグループの管理権限を有しており、グループ管理メニュー画面へログインし、メニュー内のすべての設定や送信者全てのメール情報を検索することができます。

一方、「利用者」はログインパスワードの変更および自身のメール情報のみ検索することができます。

● ユーザーの登録・編集・削除



① 登録されているユーザーの検索を行います。

検索する電子メールアドレスに含まれる文字列を[検索メールアドレス]欄に入力し、<検索>ボタンをクリックします。

[グループ管理者のみ]をチェックした状態で検索を実行すると、グループ管理者だけが検索対象となります。また、[ロック状態のみ]にチェックをすると、ログインロック状態のユーザーだけが検索対象となります。

POINT

何も入力せずに<検索>ボタンをクリックすると、登録されているすべてのユーザーが表示されます。

POINT

ログインロックについて

ログイン時、パスワードを間違えるなどして指定した回数を超えてログインに失敗した場合、ログインに使用したID(電子メールアドレス)はロック状態となり、一定期間ログインできなくなります。



ログインに失敗しログインロックがかかると「パスワードはロックされました」と画面が表示される

ログインロックに関する設定は、[設定]→[ユーザーオプション]で行います。(→P.69 参照)

グループ管理メニュー

② 検索したユーザーの結果一覧が表示されます。

| | | |
|-----------|---|--------------------------------------|
| 番号 | 検索結果の行番号が表示されます。 | |
| 電子メールアドレス | ユーザーのログイン ID(メールアドレス)が表示されます。 | |
| タイプ | ユーザーのタイプ(利用者・グループ管理者)が表示されます。 | |
| ロック | ロック状態のユーザーには○が表示されます。 | |
| 機能 | 有効な機能のアイコンが表示されます。 | |
| | L | [グループ画面へのログイン] が有効な場合に表示されます。 |
| | B | [上長メールアドレスを常時 BCC 追加] が有効な場合に表示されます。 |
| | R | [ユーザー情報のルール評価利用] が有効な場合に表示されます。 |
| 操作 | ユーザーに対して操作可能なボタンが表示されます。操作ができないボタンはグレーアウト表示になります。 | |
| | 詳細 | ユーザープロパティの画面を表示します。 |
| | 削除 | ユーザーを削除します。 |
| | ロック解除 | ロックしているユーザーをロック解除します。 |
| H | [上長メールアドレスへの保留通知送信] が有効な場合に表示されます。 | |

③ <詳細> ボタンをクリックすると、登録したユーザーの登録内容の確認、変更ができます。

ユーザープロパティ

登録日時: 2015/01/16 10:53:16 登録者: admin@localhost
最終更新日時: 2015/01/30 18:59:28 更新者: admin@localhost

基本情報

ログインID: user01@localhost

パスワード: <省略するとパスワードは変更されません>

対象者へ通知する
 登録作業者(admin@localhost)へ通知する

タイプ: 利用者 グループ管理者

SMTP認証ユーザー名:

SMTP認証パスワード: <省略するとパスワードは変更されません>

上長メールアドレス:

有効機能

グループ画面へのログイン
 上長メールアドレスを常時BCC追加
 ユーザー情報のルール評価利用
 上長メールアドレスへの保留通知送信

| | |
|--------|----------------------|
| 登録日時 | ユーザーの登録日時が表示されます。 |
| 登録者 | 登録を行ったユーザーIDが表示されます。 |
| 最終更新日時 | 登録内容の最終更新日時が表示されます。 |
| 更新者 | 更新を行ったユーザーIDが表示されます。 |

グループ管理メニュー

●基本情報

| | |
|--------------|--|
| ログイン ID | ユーザーのログイン ID が表示されます。 |
| パスワード | パスワードの変更ができます。また、パスワード変更時に[対象者へ通知する]または[登録作業員(admin@localhost)へ通知する]にチェックを入れると、ログインパスワード通知メールが送信されます。パスワードを変更しないと、通知メールは送信されません。 |
| タイプ | ユーザーのタイプ(利用者・グループ管理者)を選択します。 |
| SMTP 認証ユーザー名 | SMTP 認証に使用するユーザー名を設定します。 |
| SMTP 認証パスワード | SMTP 認証にパスワードを設定します。 |
| 上長メールアドレス | ユーザーに紐づく上長のメールアドレスを設定します。複数設定する場合は、改行し、1行1メールアドレスで入力します。入力できるメールアドレスは最大10までとなります。 |

POINT

ログイン ID のパスワードに使用できる文字は次のとおりです。
abcdefghijklmnopqrstuvwxyzABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789._+&%

●有効機能

| | |
|-----------------------|--|
| グループ管理画面へのログイン | チェックをすると、ユーザーに対してグループ管理画面へのログインが許可されます。 |
| 上長メールアドレスを常時 BCC 追加*1 | チェックをすると、配送される全てのメールでユーザーの上長メールアドレスに対して BCC 配送されます。(ブロックの場合は BCC 配送されません。 POINT BCC 配送されるメールは、ルール of 動作(暗号化やダウンロード URL 化)が適用されたメールではなく、ルール適用前の送信者が送信したメールになります。 |
| ユーザー情報のルール評価利用*1 | チェックをすると、上長メールアドレスの有無を条件としたルールの評価対象になります。 |
| 上長メールアドレスへの保留通知送信*1 | チェックをすると、保留ルールのオプション[ユーザーの「上長メールアドレス」に保留通知を送る]の処理対象になります。 |

CAUTION

*1 の機能を利用する場合、予め基本情報の上長メールアドレスを設定しておく必要があります。

- ④ <削除> ボタンをクリックすると、選択したユーザーの削除ができます。
- ⑤ <ロック解除> ボタンをクリックすると、ユーザーのロック状態を解除することができます。

⑥ 1 ユーザーごとに登録を行います。

1

ユーザー一覧

入力された値と部分一致する電子メールアドレスのユーザーを検索します。
何も入力せずに検索すると全てのユーザーが検索されます。

検索メールアドレス:

マネージャーのみ ロック状態のみ

| 番号 | 電子メールアドレス | タイプ | ロック | 機能 | 操作 |
|------------------------|-----------|-----|-----|----|----|
| 検索する電子メールアドレスを入力して下さい。 | | | | | |

<新規登録>ボタンをクリックします。

2

ユーザープロパティ

基本情報

ログインID:
電子メールアドレスを入力して下さい。

パスワード:
 対象者へ通知する
 登録作業員(admin@localhost)へ通知する

タイプ: 利用者 マネージャー

SMTP認証ユーザー名:

SMTP認証パスワード:

上長メールアドレス:

有効機能

グループ画面へのログイン
 上長メールアドレスを常時BCC追加
 ユーザー情報のルール評価利用
 上長メールアドレスへの保留通知送信

[ユーザープロパティ]画面が開いたら、各項目を設定し、<新規登録>ボタンをクリックします。

CAUTION

登録したパスワードを、登録後に画面上より参照することはできません。登録対象者に通知する必要がある場合などは、通知オプションを利用してください。また、登録したパスワードが分からなくなった場合は、パスワードを再設定してください。

⑦ ユーザーの CSV インポートによる一括登録、CSV エクポートを行います。

●ユーザーの一括登録

1

ユーザー一覧

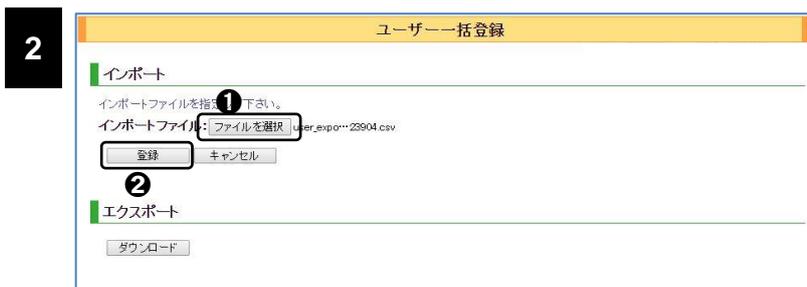
入力された値と部分一致する電子メールアドレスのユーザーを検索します。
何も入力せずに検索すると全てのユーザーが検索されます。

検索メールアドレス:

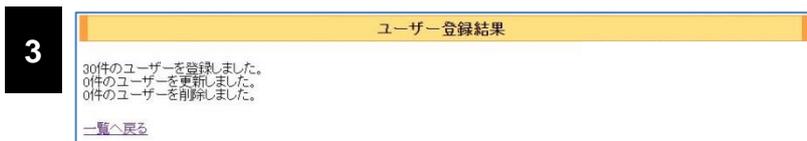
マネージャーのみ ロック状態のみ

| 番号 | 電子メールアドレス | タイプ | ロック | 機能 | 操作 |
|------------------------|-----------|-----|-----|----|----|
| 検索する電子メールアドレスを入力して下さい。 | | | | | |

<一括登録>ボタンをクリックします。



[ユーザー一括登録]画面が表示されたら、①<ファイルを選択>ボタンをクリックし、インポート用の CSV ファイルを指定します。ファイルを選択後、②<登録>ボタンをクリックします。



登録完了後、登録結果画面が表示されます。

POINT

一括登録では、ユーザー情報の一括登録、更新、また削除を行うことができます。

POINT

ユーザー一括登録用ファイルについて

ユーザー一括登録用のファイルは、データをカンマで区切った CSV 形式ファイルです。

CSV の書式は以下の通りです。

<処理種別>,<ログイン ID>,<パスワード>,<ユーザータイプフラグ>,<SMTP 認証ユーザー名>,<SMTP 認証パスワード>,<上長メールアドレス>,<グループ管理画面へのログイン機能フラグ>,<上長メールアドレスを常時 BCC 追加機能フラグ>,<ユーザー情報のルール評価利用機能フラグ>,<上長メールアドレスへの保留通知送信機能フラグ>

◆処理種別(必須)

“U” : 更新または新規登録(同アドレスが存在する場合は更新)

“D” : 削除

◆ログイン ID(必須)

メールアドレス形式で指定

◆パスワード

既存ユーザーの更新の場合 : 未指定なら未更新

新規登録の場合 : 必須

削除の場合 : 省略可

◆ユーザータイプフラグ

"0" : 利用者

"1" : グループ管理者

省略時は、利用者

◆SMTP 認証ユーザー名

新規登録の場合 : 省略可 (SMTP 認証ユーザー名は登録されません)

更新の場合 : 既存値または更新値どちらかの入力必須 (未指定の場合、設定値がクリアされます。)

◆SMTP 認証パスワード

グループ管理メニュー

新規登録の場合:省略可 (SMTP 認証パスワードは登録されません)

更新の場合:既存値または更新値どちらかの入力必須 (未指定の場合、設定値がクリアされます。)

◆上長メールアドレス

メールアドレス形式で指定

複数指定の場合、ダブルクォートで括って各アドレスをカンマ区切りで指定

(例: "test01@example.jp,test02@example.jp")

◆グループ管理画面へのログイン機能フラグ

"0" : 無効

"1" : 有効

省略時は無効

◆上長メールアドレスを常時 BCC 追加機能フラグ

"0" : 無効

"1" : 有効

省略時は無効

◆ユーザー情報のルール評価利用機能フラグ

"0" : 無効

"1" : 有効

省略時は無効

◆上長メールアドレスへの保留通知送信機能フラグ

"0" : 無効

"1" : 有効

省略時は無効

例:

U,tanaka@example.jp,password,1,tanaka@example.jp,authpass,mngr01@example.jp,1,1,1,1

U,satou@example.jp,,,,,"mngr01@example.jp,mngr02@example.jp",0,1,1,1

D,saburosuzuki@example.co.jp,,,,,,,,

:

:

CAUTION

1グループに登録可能なユーザー数の上限は 10,000 件です。

●ユーザー一覧のエクスポート

ユーザー一括登録

インポート

インポートファイルを指定して下さい。

インポートファイル: [ファイルを選択] user_export...23904.csv

登録 キャンセル

エクスポート

ダウンロード

[ユーザー一括登録]画面より
<ダウンロード>ボタンをクリックしま
す。

ユーザー一覧の CSV ファイル
(user_export_yyyymmddhhmmss.
csv) がダウンロードされます。

連絡先

お問い合わせ先

サポートセンターへのお問い合わせ

| | |
|---------------------------------|-------------------------|
| ■コントロールパネルログイン情報・設定内容に関する確認に関して | |
| バリオセキュア株式会社 | |
| 受付時間 | 平日 9:00～18:00 |
| サポートセンター(平日 9:00～18:00) | 0120-377-241 |
| Fax 番号 | 03-3233-2091 |
| メールでのお問い合わせ先 | support@variosecure.net |

※サポートセンターからのお願い

お問い合わせ作業・調査を迅速に行うため、下記の情報をお知らせくださいますよう、ご協力をお願い申し上げます。

| | |
|----------|--|
| サービス番号 | 納品書に書かれている「AM. JP.」で始まるサービス番号に記入されているサービスコード |
| 貴社名 | ご契約されている会社名 |
| お名前 | お客様のお名前 |
| ご連絡先 | お問い合わせに関する回答をお知らせするご連絡先 |
| お問い合わせ内容 | お問い合わせ内容、問題などの詳細 |

【ご注意】

お客様のセキュリティ保護のため、お問い合わせ時にはお客様の本人性の確認をとっております。

セキュリティオフィサー(管理者)様以外の方からのお問い合わせには一切応じられませんので、あらかじめご了承ください。